

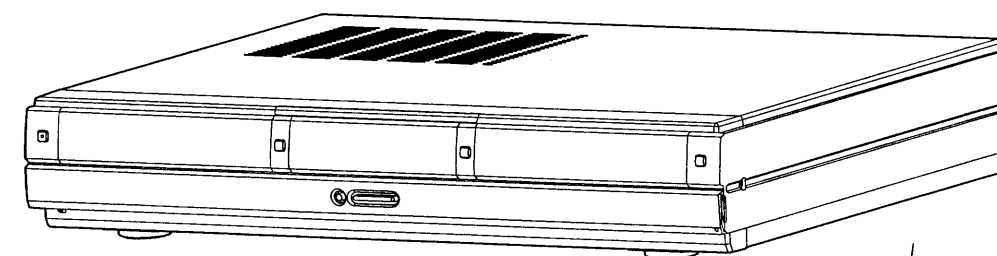
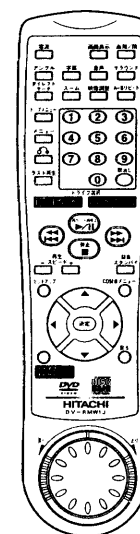
HITACHI

日立DVDプレーヤー・CDレコーダー

形名

DV-W1

取扱説明書



製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製品番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

このたびは日立DVDプレーヤー・CDレコーダーをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に 本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機をご使用前によくお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、「保証書」と一緒に保管してください。

●業務用には対応していません。

はじめに

準備

録音する

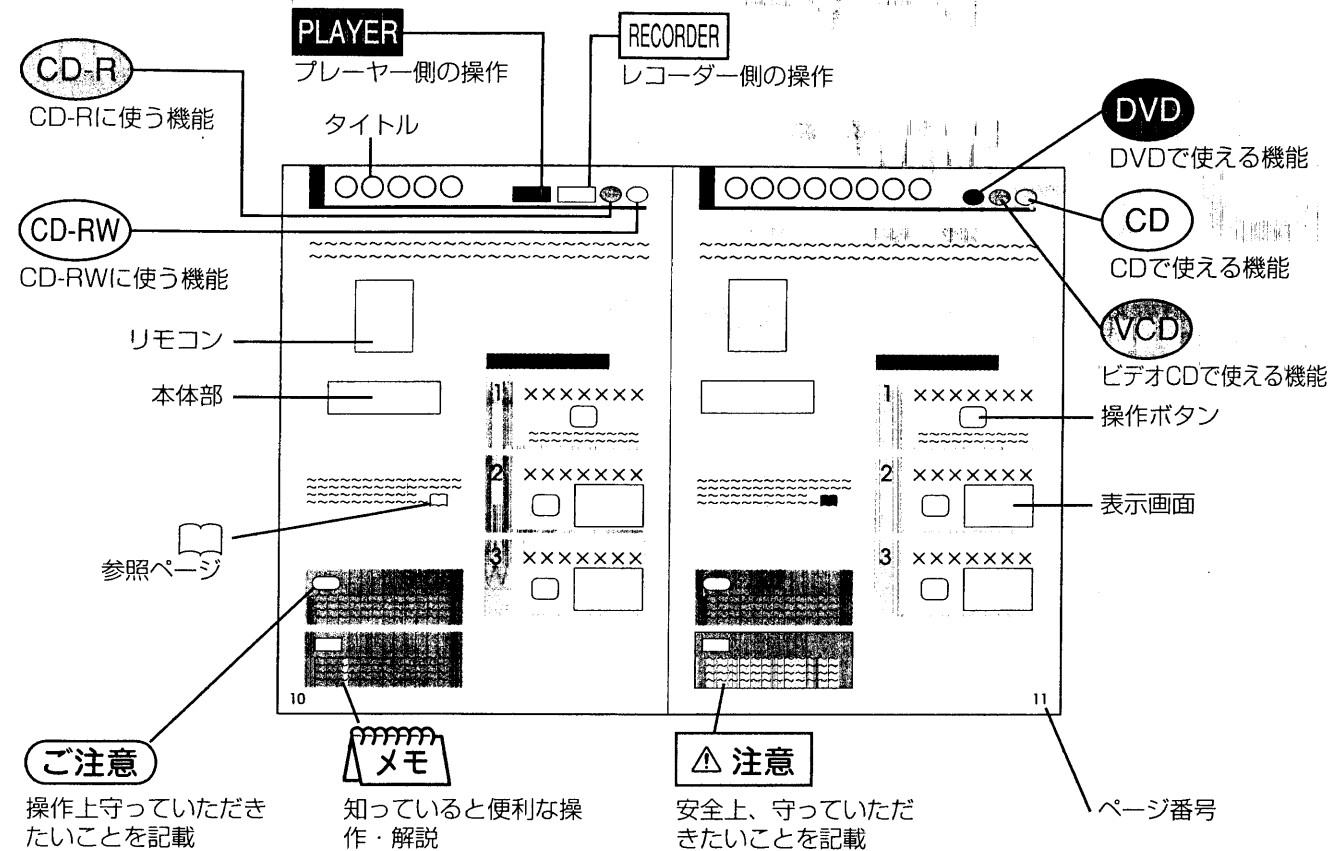
見る・聞く

設定

ご参考

本書の見かた

この取扱説明書はほとんどが次のようになっています。よくお読みいただき、正しくお使いください。(ページによって配置などが異なる場合もありますが、基本的には同じ説明方法です。)



特長

音楽CDをCD-R、CD-RWに簡単、高速にダビング

DVDディスクの再生

簡単に見たい場面をサーチできるディスクナビゲーションシステム

ご注意 DVD再生時の操作上のご注意

本機はDVDの規格に従ったディスクを再生することができますが、ディスクによってアングルや字幕が1種類しか入っていないため、アングルや字幕の切り換えができないなど本書の記載通りに動作しないものもあります。本書とディスクの説明書をあわせてご覧ください。



DVDは12cmのディスクに標準で133分もの映像と高音質な音声を記録できる新しいメディアです。DVDでは従来のディスクでできることに加え、多様な楽しみ方ができるように規格されています。例えば、見たいアングルに変えて楽しむとか、字幕の言語を変えたり、音声の言語を変えたりすることもできます。

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。また、リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

「スペシャライザー」はデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドからの実施権に基づき製造されています。SPATIALIZERおよびシンボルマークはデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドの登録商標です。

はじめに

もくじ

はじめに

本書の見かた	2
特長	3
安全上のご注意	5
使用上のご注意	9
付属品をご確認ください	11
ディスクについて	12

準備

ディスクの取り扱い	13
リモコンの取り扱い	14
各部の名称	15
他の機器と接続する	17

録音する

ダビングする	20
プログラムダビングする	24
他の機器から録音する(デジタルシンクロ録音)	26
他の機器から録音する(マニュアルデジタル録音)	28
他の機器から録音する(アナログ録音)	31
ファイナライズする	34
ファイナライズ解除する(CD-RW)	36
消去する(CD-RW)	38

見る・聞く

再生する	39
操作を終了する	39
チャプター/トラックを進める・戻す	40
静止画/コマ送りにする	41
再生スピードを変える	42
つづきから見る(ラスト再生)	43
ディスクのメニュー画面から再生する	43
トップメニュー画面から再生する	44
ディスクナビゲーション	45
ダイレクトサーチ(タイトル/チャプター/トラック)	46
ダイレクトサーチ(タイム)	47
CDのダイレクトサーチ	48
繰り返し再生する(リピート再生)	49
順不同で再生する(ランダム再生)	50
お好みの順番で再生する(プログラム再生)	51
画面の一部を拡大する(ズーム)	53
見たい方向からの映像を選ぶ(アングル)	53
字幕言語を選ぶ	54
音声言語を選ぶ	54
音声を切り換える	55
情報を見る	55
出力フォーマットを変更する	56
サラウンドモードを変更する	57
ワイドテレビ用ソフトを設定する	57
字幕言語を設定する	58
音声言語を設定する	59
視聴制限を設定する(パレンタルロック)	60

設定

さまざまな設定を変更する	61
--------------	----

ご参考

言語一覧表	64
用語	65
故障かな?と思ったら	66
日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表	68
仕様	70
保証とアフターサービス	71

安全上のご注意

ご使用の前にまず「安全上のご注意」をお読みになってから、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

〈絵表示の例〉

- △記号は警告(注意)を促すことです。(この例は「感電注意」)
- ⊘記号は行為を禁止することです。(この例は「分解禁止」)
- 記号は行為を強制することです。(この例は「電源プラグをコンセントから抜く」)

警告

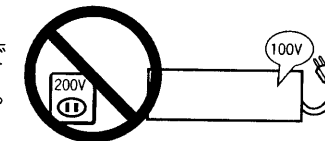
不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

- 表示された交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



水にぬらさない

- 水場では本機を使用しないでください。
- 屋外や窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 万一内部に水などが入った場合は、使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない

- 本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。誤って本機の内部に入ると、火災・感電の原因となります。

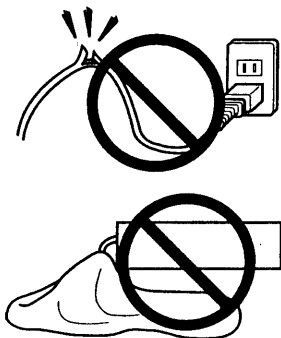


安全上のご注意(つづき)

警告

電源コードを傷つけない

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重い物をのせて電源コードを傷つけることがあるのでご注意ください。火災・感電の原因となります。



電源コードを加工しない

- 電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

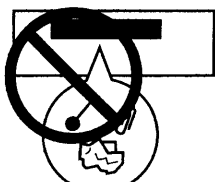


電源コードが傷んだら交換する

- 電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源プラグをコンセントから抜く

改造しない カバーを開けない

- 本機を改造すると火災・感電の原因となります。
- 本機の裏ぶた、カバーは外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

異常なときは使わない

- 万一煙が出ている、へんな臭いがするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



電源プラグをコンセントから抜く

落としたり、キャビネットを破損しない

- 万一本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

警告

雷が鳴るときは電源プラグには触れない

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

注意

油煙や湯気が当たる場所に置かない

- 火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



移動させるときは注意を!

- 移動させるときは、必ずディスクを取り出し、OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから電源プラグをコンセントから抜き、テレビなどとの接続線ははずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

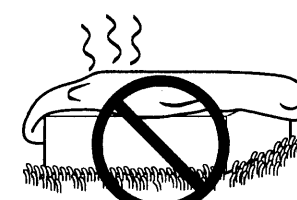
直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かない

- キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

- 本機の通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、内部に熱がこもった状態で本機に触れると、火傷の原因となることがあります。本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。



本機の上に乗らない

- 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

本機の上に重い物を置かない

- 本機の上に重い物やテレビなどを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



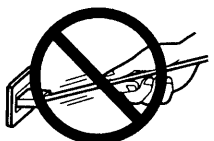
電源コードを熱器具に近づけない

- コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



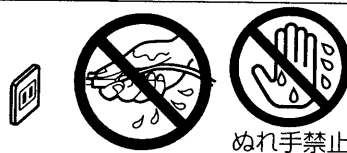
電源プラグを持ってコンセントから抜く

- 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



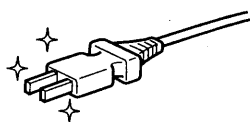
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電する原因となることがあります。



電源プラグのゴミやホコリにご注意!

- 電源プラグにゴミやホコリが付着したまま使用すると発熱・火災の原因となります。電源プラグの刃やその周辺は、乾いた布で拭きいつもきれいにしておいてください。



お手入れするときは

- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。



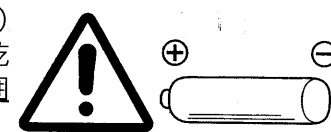
機器で指定されていない乾電池は使わない

- 指定されていない乾電池を使ったり、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。



乾電池は機器の指示どおり正しく入れる

- 極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください。まちがえますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



長時間ご使用にならないときは

- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。



内部の掃除について

- 5年に1度くらいは、内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長いあいだ掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店にご相談ください。



使用上のご注意

お手入れについて

- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、軟らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

本機の機能動作について

- 誤動作および故障などにより本機が正しく動作しないことがあります。これによる付随的損害(機会損失による補償など)は、当社は一切の責を負いませんので、あらかじめご容赦ください。

ガラスドア付きラックに入れたとき

- ガラスドアを閉めたままリモコンの開/閉ボタンを押して、ディスクテーブルを開けしないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

再生中は本機を絶対に動かさない

- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

熱を受けないようにする

- アンプなど、熱を発生する機器の上へのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚(ホコリをかぶらない程度)に入れてください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1~2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
- 夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

使用上のご注意(つづき)

その他の注意

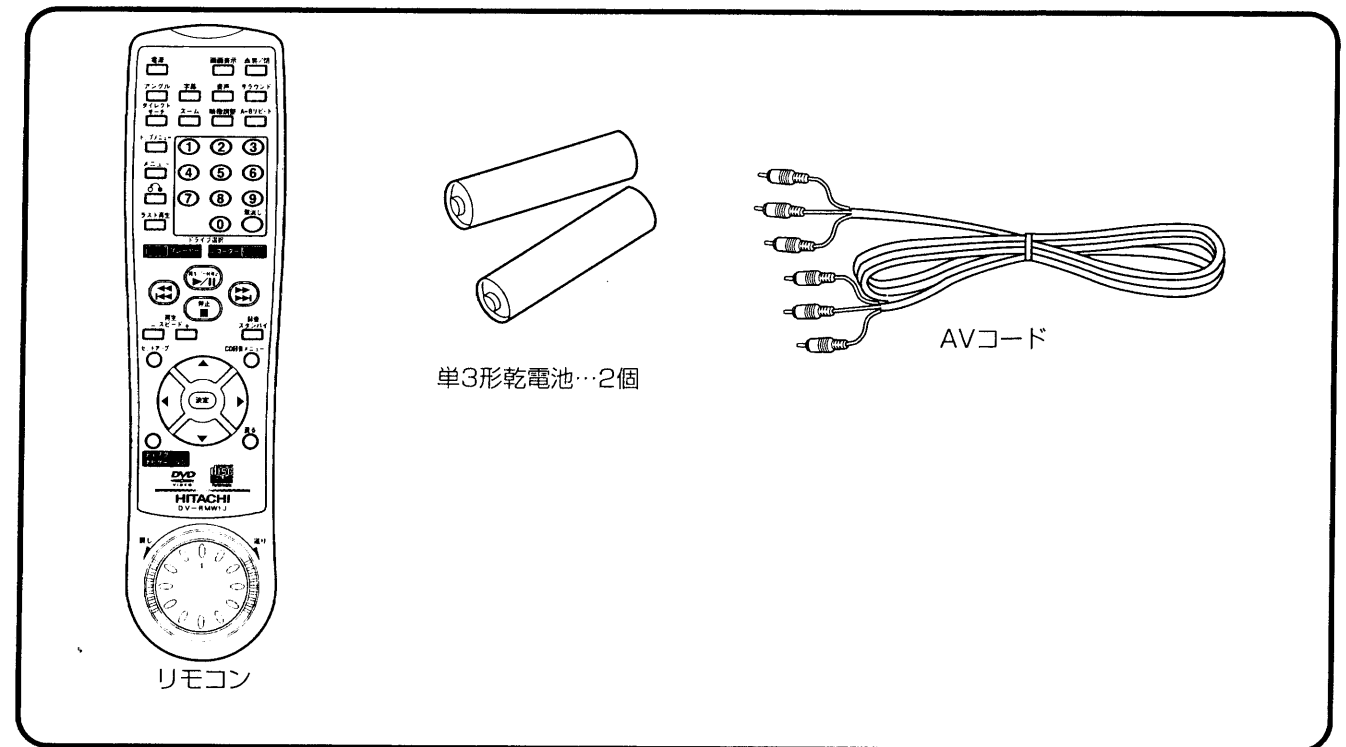
- 本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。本機から離してご使用ください。
- ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源コードを1度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

本機を移動 させるときの注意

- 以下の手順にしたがって電源を切り、確認のうえ本機を移動させてください。間違った操作をおこなうと故障の原因となることがあります。
 - ①両方のトレイからディスクを取り出す
 - ②両方のトレイを閉じる
 - ③POWER/STANDBYボタンを押し、電源を切る
 - ④電源プラグをコンセントから抜く

付属品をご確認ください

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。



ディスクについて

本機はNTSC (日本のテレビ方式) に適合しています。
下記以外のディスクは使用できません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	再生時間
DVD 	DVD	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 2 方式)
	12cm/片面 1層	約133分 4.7GB
	12cm/両面 1層 2層	約242分 8.5GB 約266分 9.4GB 約484分 17GB
ビデオCD 	VIDEO CD 12cm/片面	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 1 方式) 最大74分
	VIDEO CD シングル 8cm/片面	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 1 方式) 最大20分
	CD 	デジタル音声 最大74分
CD 	CD 12cm/片面	デジタル音声 最大74分
	CD シングル 8cm/片面	デジタル音声 最大20分

録音できるディスクの種類とマーク	大きさ/録音面	録音時間
CD-R 	CD-R CD-RW 12cm/片面	デジタル音声 最大74分
CD-RW 		
FOR CONSUMER USE ONLY (ディスクには上の表示のうち1つが付いています。)		

録音は上記マークのないディスクでは行えません。
著作権使用料は、著作権法で制定されています。上記マークの付いたCD-RディスクやCD-RWディスク、また「FOR CONSUMER」「FOR CONSUMER USE」「FOR MUSIC ONLY」とあるディスクはすでに使用料が支払われているため、個人で楽しむ範囲内の音楽録音が許されています。ただし、個人で楽しむ以外の目的でディスクを使用する場合には、権利者から許可を得る必要があります。

- 左表に表示されたマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
- 本機は左記のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
- 故障などを防ぐため、8cmアダプター (CD用) は使用しないでください。
- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因になります。
- DVDの再生時間は、平均記録レートが4.7Mbpsの場合です。

■ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD (バージョン2.0) に対応しています。(PBCとは、Playback Controlの略です。) ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD (バージョン1.1)	音声用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC付きビデオCD (バージョン2.0)	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

■ご注意

- リージョンコードが日本地域番号である「2」を含んでいないDVDは再生できません。

■CD-Rディスクを再生する

CDプレーヤーまたはDVDプレーヤーによっては、本機で録音しファイナライズしたディスクが再生できないものがあります。

本機で再生できるCD-Rが、お持ちの機器で使用できるか、事前に確認してください。

■CD-RWディスクを再生する

CD-RWディスクを再生する機能に対応しているプレーヤーで再生できます。CD-RWディスクをファイナライズしても、CD-RWディスクに対応したプレーヤーでなければ再生できません。

■ディスクが認識されないとき

本機はCD-R、CD-RWディスクをレコーダーで認識できない場合があります。その場合、ディスクを取り出して、もういちど入れ直してください。

著作権についてのご注意

- ラジオ放送番組、CD、レコード、音楽テープ、オリジナルカセットなどのメディアと音楽演奏は、音楽要素である歌詞とメロディが等しく著作権法によって保護されています。
- したがって、権利者の許諾なく上記の媒体を販売・譲渡・配布・リース、また店舗などでBGMとして流すことも禁止されています。

■ご注意

- CD-R、CD-RWディスクは、Audio専用以外のディスクは使用できません。

ディスクの取り扱い

■次のマークのうち、いずれかのマークが付いたディスクをお使いください。

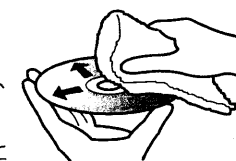


■保管

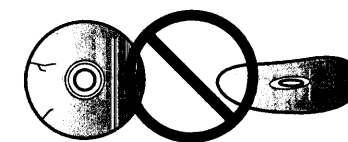
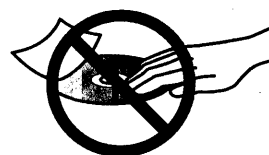
- ディスクはプラスチック製です。そらさないように注意してください。必ずケースに入れ、直射日光や高温多湿の場所、太陽のあたる屋外、車のシートの上なども予想以上に高温となりますので置かないでください。
- ディスクに付いている注意事項は必ずお読みください。

■ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音質や画質が低下することがあります。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、そのあと乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ディスクにセロハンテープやレンタルのラベルなどのノリがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。



柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く



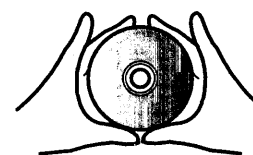
■レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは、保証とアフターサービス(21)をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるもの、あるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

■ディスクの持ちかた

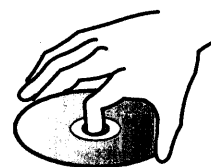
両手で持つ場合

ディスクの両端をはさんで持つ。



片手で持つ場合

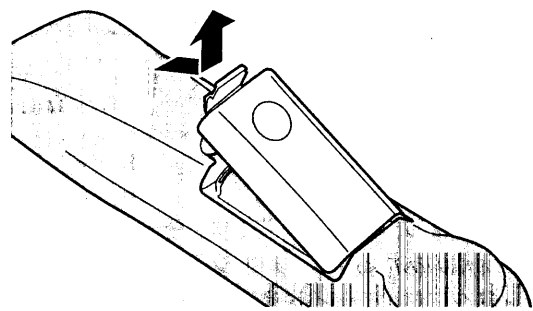
中央の穴と外周部に指をかけて持つ。



リモコンの取り扱い

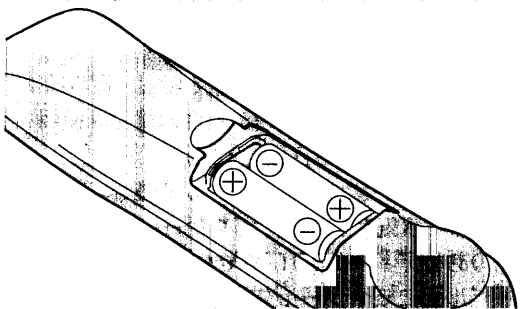
乾電池の入れかた

1 つまみを押しながら、ふたを開ける

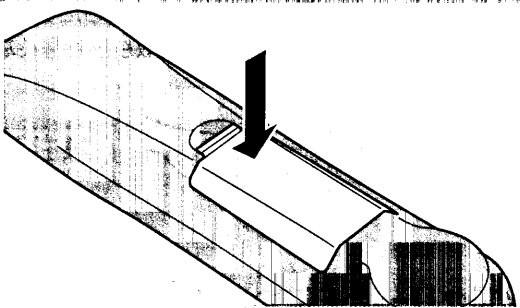


2 乾電池(単3形)を入れる

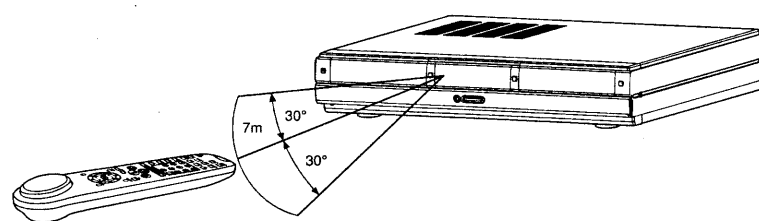
付属の単3形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。



3 ふたを閉じる



リモコンの取り扱い



●リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約7メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。

【ご注意】リモコンの使用上のご注意

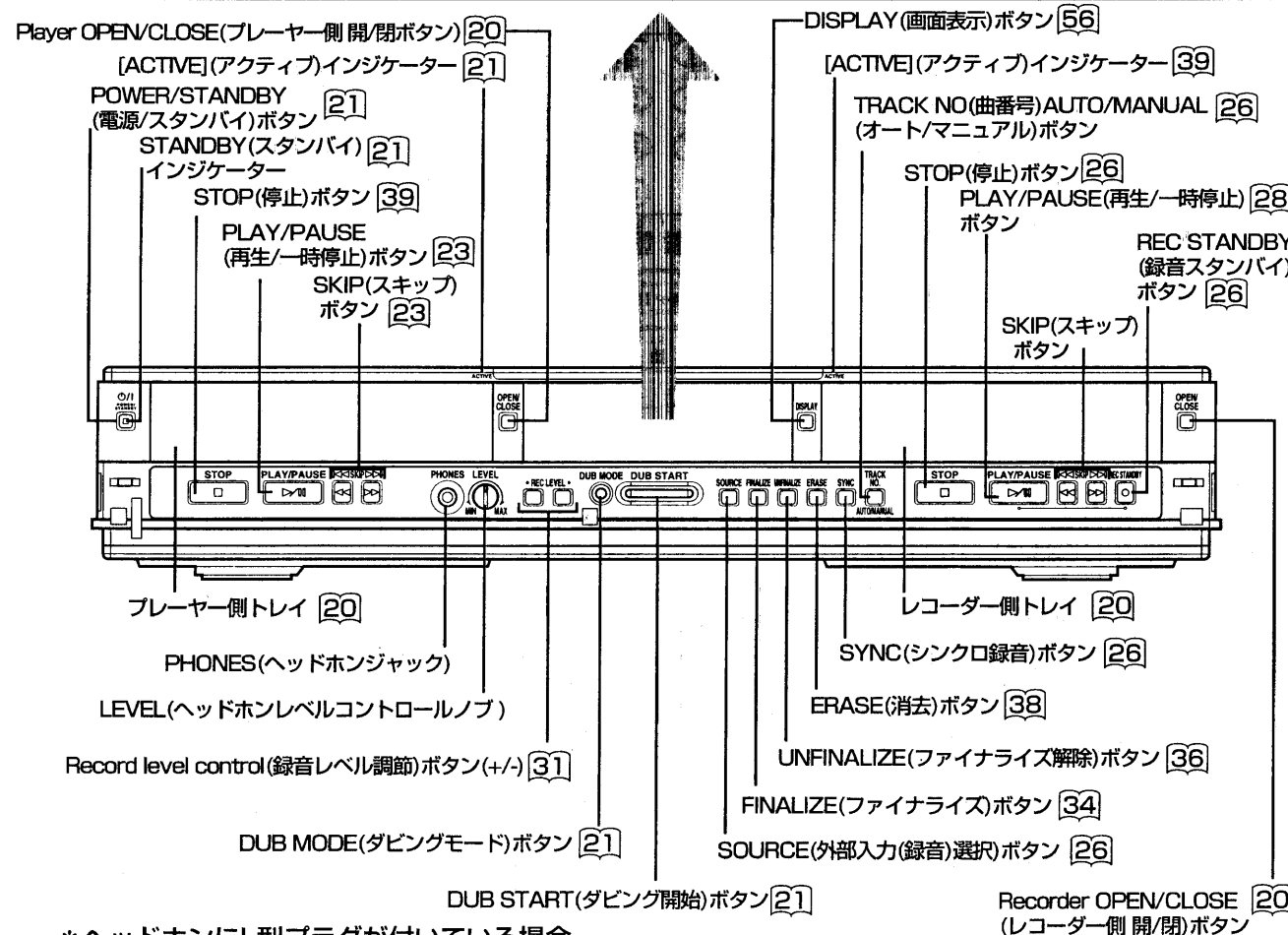
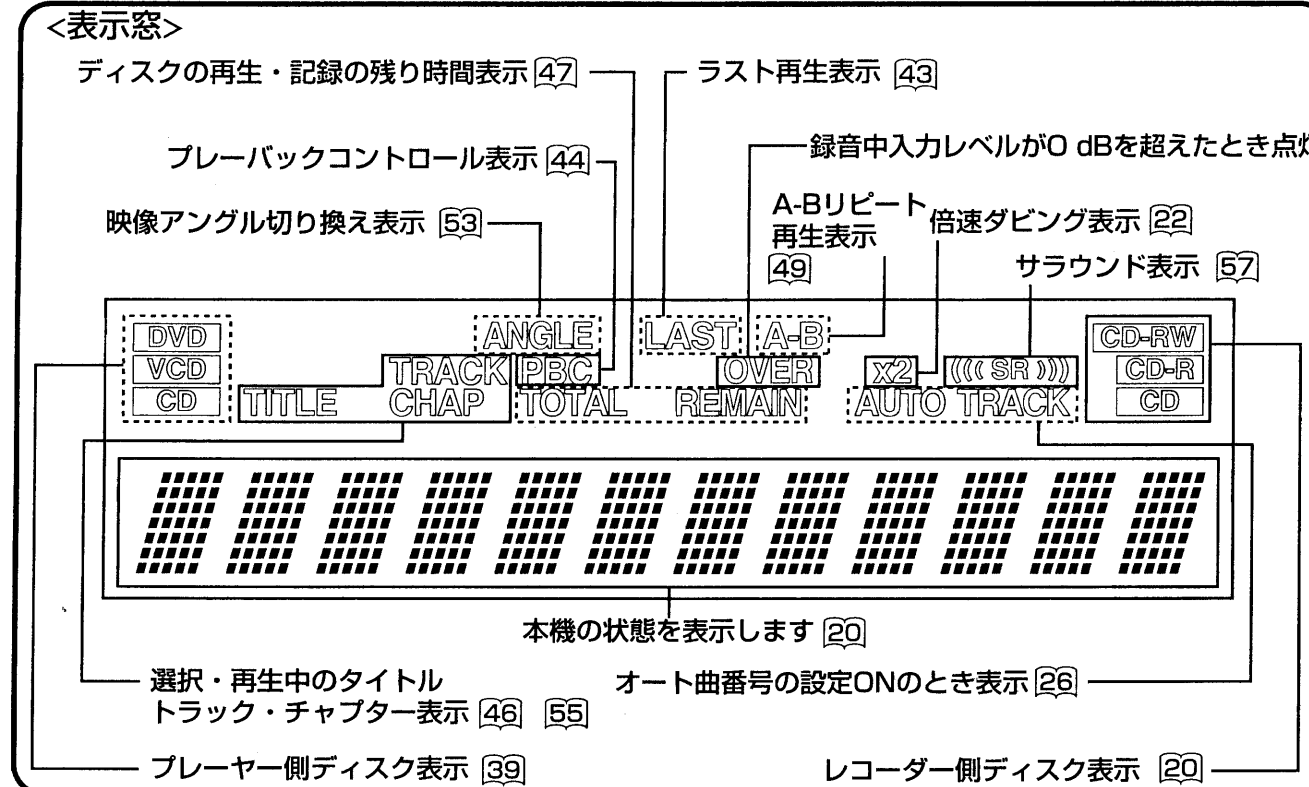
- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンでの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると、動作しにくくなる場合があります。光が直接当たらないようにご注意ください。

【注意】乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 乾電池を機器内に挿入する場合は、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと乾電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

各部の名称

正面

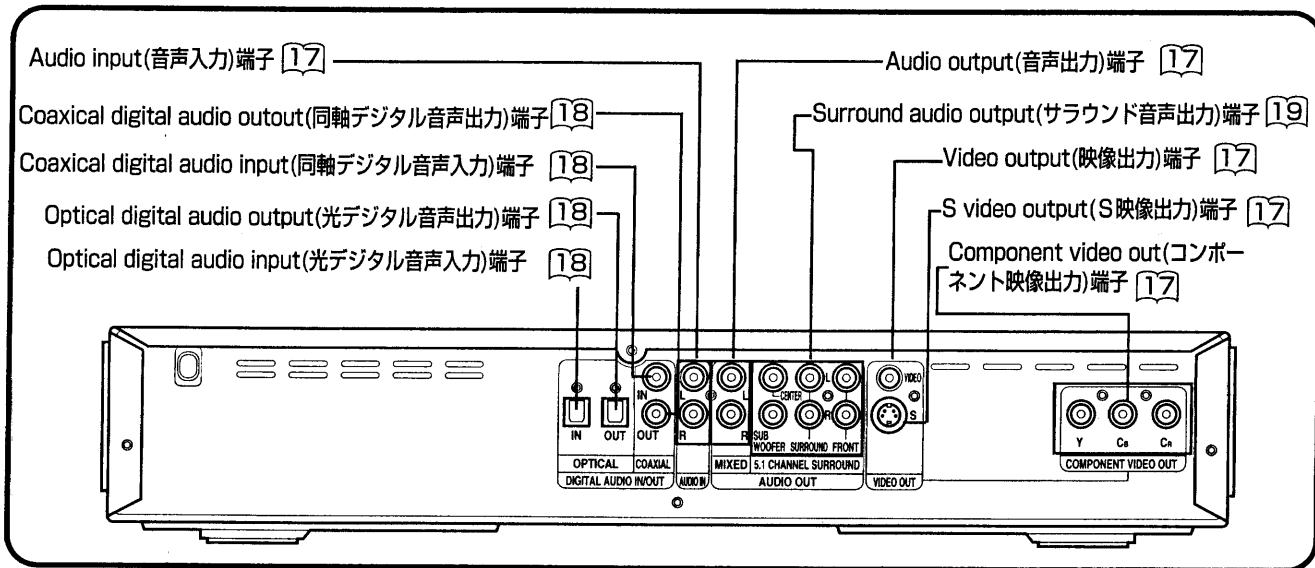


*ヘッドホンにL型プラグが付いている場合、ヘッドホンジャックに接続できないことがあります。(一般的に使われている)延長ケーブル/変換プラグを付けてご使用ください。

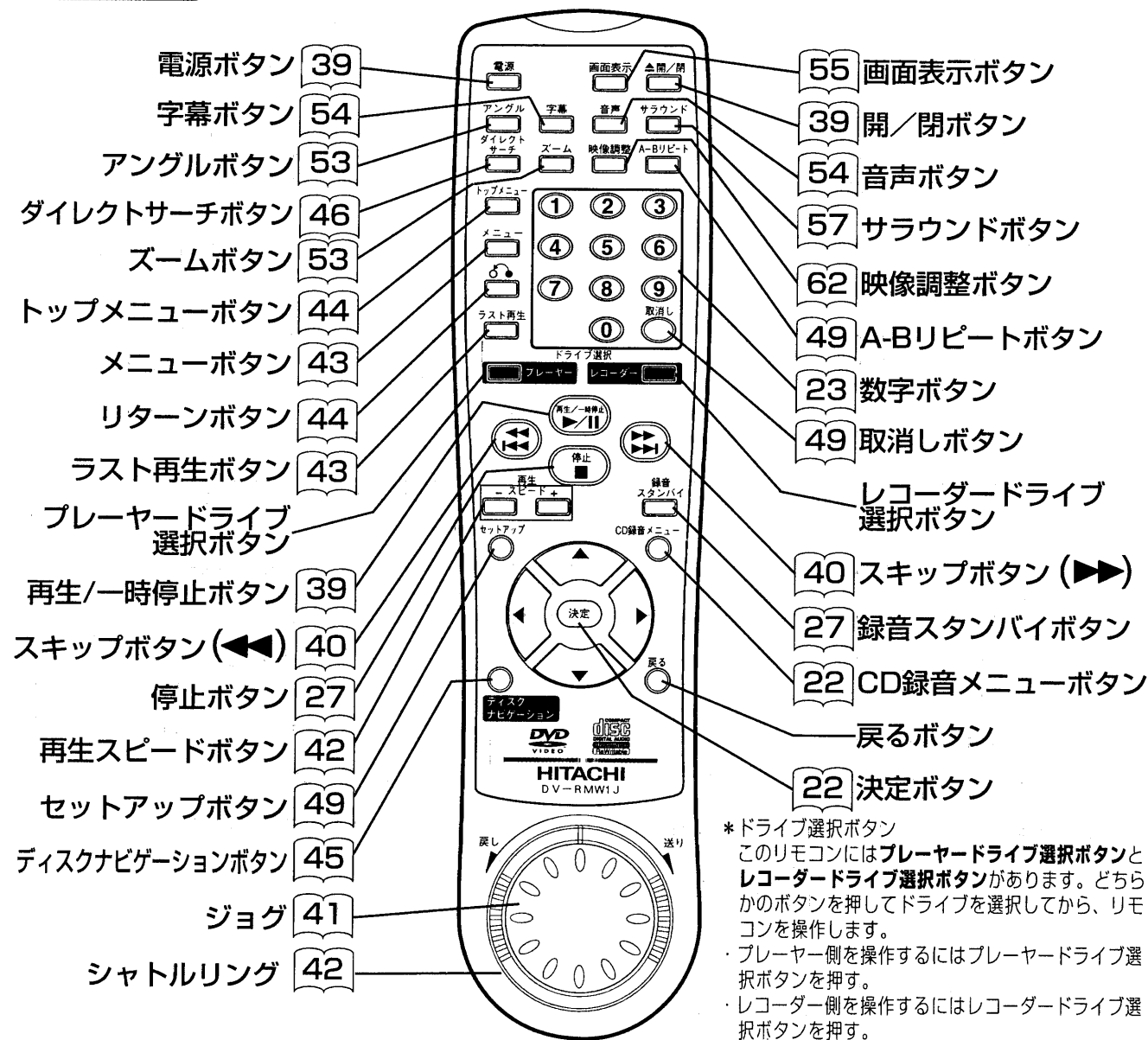
準備

各部の名称(つづき)

後面



リモコン

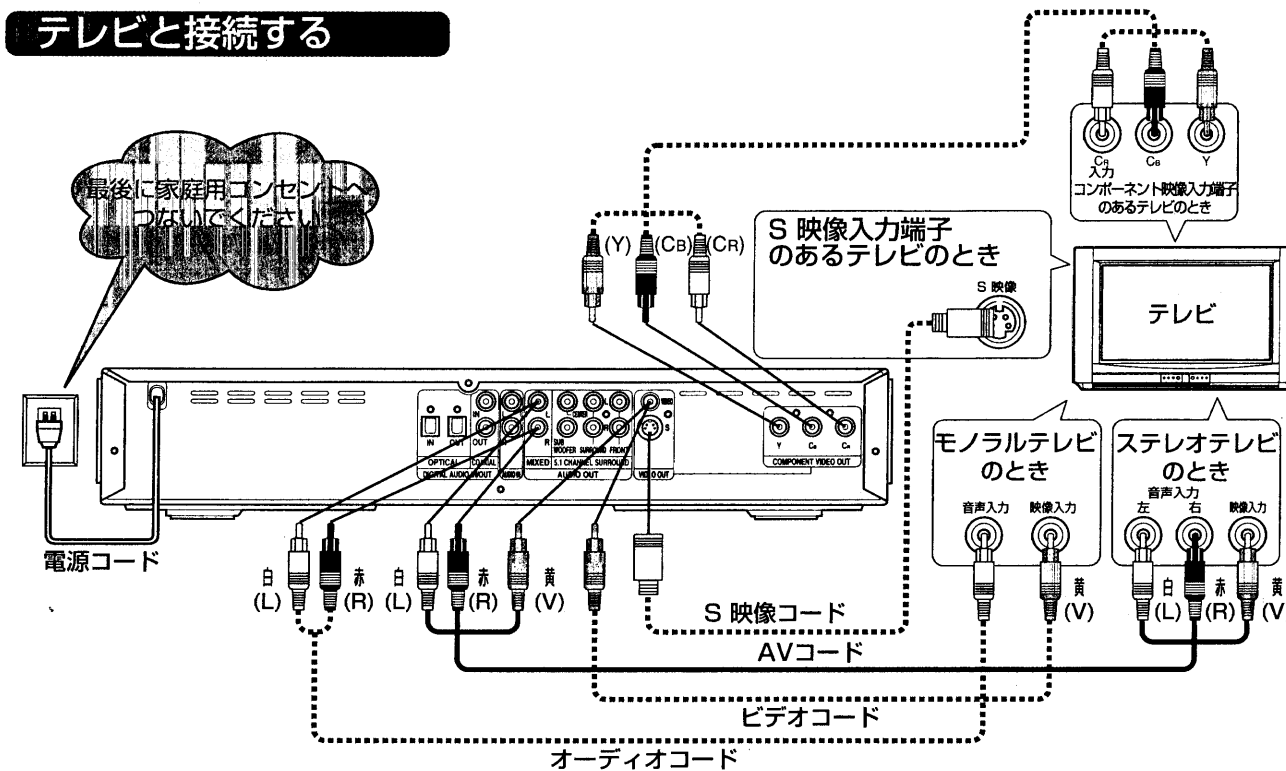


他の機器と接続する

ご注意

- 他の機器と組み合わせてご使用になる際には、それぞれの取扱説明書をよくお読みになつてください。
- 接続するときは、各機器の電源を切つてから行ってください。

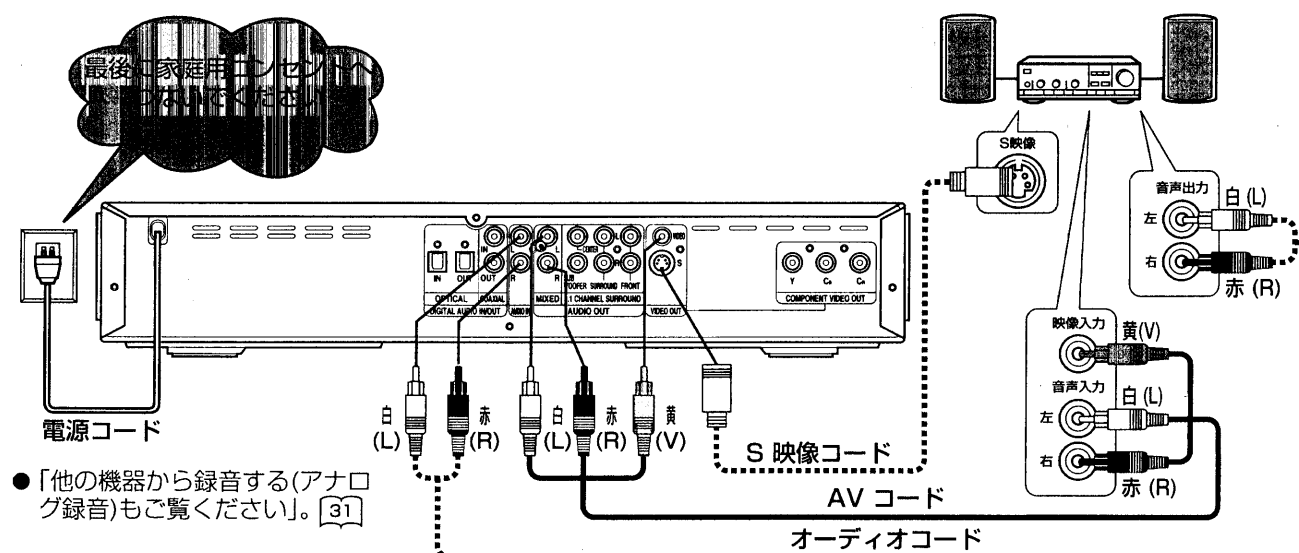
テレビと接続する



- 「リモコンを使うとき」もご覧ください。[20]
- モノラルテレビと接続する場合は、別売りのオーディオ/ビデオコード(HPU-14AV)などをお使いください。セットアップ画面で「2ch」に設定してください。

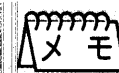
実線は付属のコードです
点線は市販のコードをご使用ください。

ステレオと接続する



- 「他の機器から録音する(アナログ録音)もご覧ください。[31]

実線付属のコードです
点線は市販のコードをご使用ください。

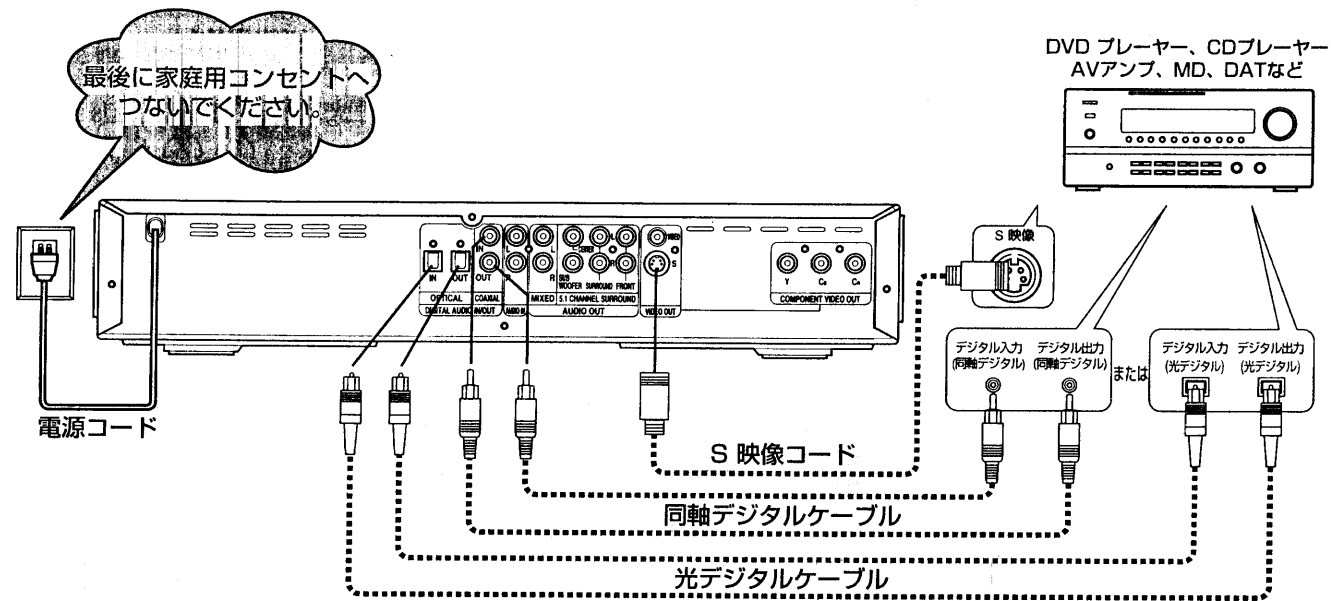


96kHz、24bitなどの高品位オーディオが記録されているDVDを再生する場合は、デジタル出力の設定をオフにすることをおすすめします。[61]

準備

他の機器と接続する(つづき)

デジタル端子付き機器と接続する



- 本機はデジタル音声入力端子に接続した機器からの信号も記録できます。
- ドルビーデジタル入力端子のあるアンプと接続することによって、ドルビーデジタルサラウンドでお楽しみいただけます。
- 「他の機器から録音する(デジタルシンクロ録音)」もご覧ください。[26]
- 「他の機器から録音する(マニュアルデジタル録音)」もご覧ください。[28]

点線は市販のコードをご使用ください。

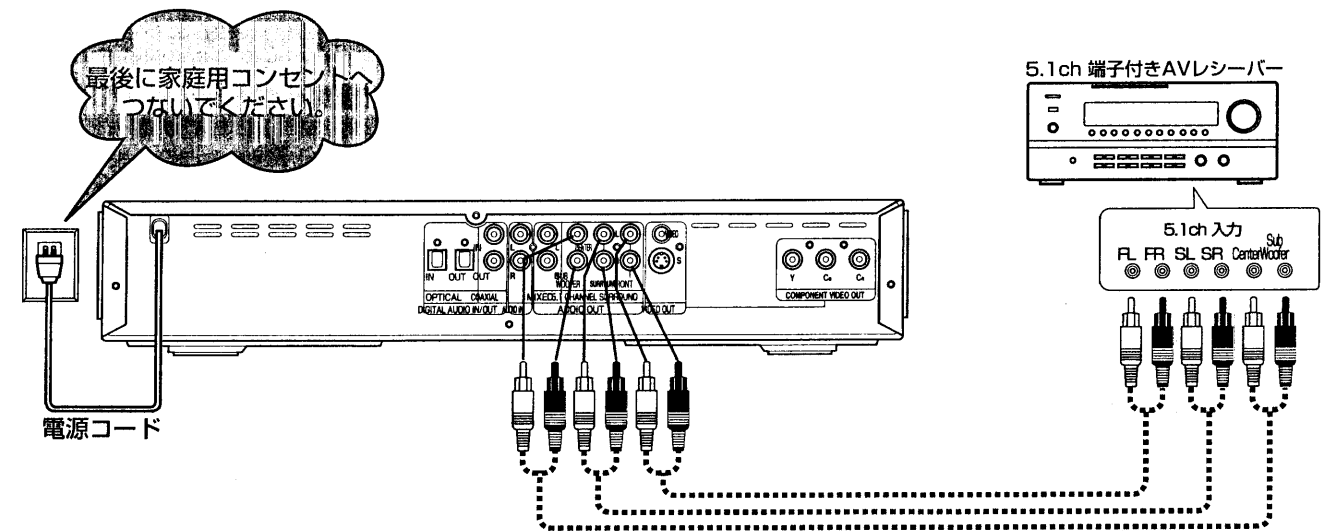
ご注意

- デジタル接続した他の機器から本機へダビングした時、トラック番号が増えたり画面上にエラーが表示されることがあります。
- デジタルダビング中はデジタル音声は出力されません。ダビング中の音声をお聞きになるには、本機のMIXED音声出力端子をご使用ください。
- ドルビーデジタル(AC-3)のDVDをデジタル接続したMDやDATに録音するときは、デジタル音声の設定をLPCMにしてください。ドルビーデジタル(AC-3)で記録されているDVDは、DTS/AC-3/MPEG2の設定で録音しようとすると、ノイズを録音してしまいます。
- CDをデジタル接続でMDやDATに録音する場合、曲の番号が正しく記録されないことがあります。録音後にMDやDATで曲の番号を編集してください。
- デジタル接続でMDやDATに録音すると曲の先頭に入っている信号が正しく記録されないことがあります。
- DTS信号は本機のデジタル出力端子(同軸デジタル/光デジタル)からのみ出力します。
- 光デジタル入力/出力端子にケーブルを接続するときは、シャッターをそのまま押し込むようにしてください。

「DTS」および「DTS DIGITAL OUT」は米国デジタルシアターシステムズ社の商標です。

ドルビーラボラトリーからの実施権に基づき製造されています。
「Dolby」、ダブルD記号はドルビーラボラトリーの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリー。不許複製。

アナログ端子付き機器と接続する



ご注意

- MIXED音声出力端子は2chオーディオに出力します。

ドルビーデジタルサラウンドはAVレシーバーの5.1ch端子に接続することでお楽しみいただけます。
サブウーハースピーカーをお持ちの方は、セットアップ画面で「5.1ch sub W.オン」を設定してください。
サブウーハースピーカーをお持ちでない方は、「5.1ch sub W.オフ」に設定してください。[62]

準備

本機で音楽CDをCD-RディスクとCD-RWディスクに録音できます。

■ダビングを始める前に

ダビングを始める前に以下の注意文をよくお読みください。

本機で録音できるディスク

本機で録音できるディスクはCD-RディスクとCD-RWディスクです。

ディスクについては [12] をご覧ください。

CD-R・CD-RWディスクについて

CD-R

CD-Rディスクに録音できるのは一度だけです。

ファイナライズしたCD-Rディスクには録音できません。

CDプレーヤーによっては、CD-Rディスクを再生できないものもあります。

●録音中に停電などの理由で本機の電源が切れた場合、正常に録音されません。その場合は新しいディスクをお使いください。

CD-RW

CD-RWディスクは反射率が小さいので通常のCDプレーヤーでは、再生できないことがあります。

録音するために必要なディスクの残り時間

CD-Rディスク、CD-RWディスクに曲を録音するための残り時間が、10秒以上ないと録音することができません。

OPEN/CLOSEボタンについて

プレーヤー側とレコーダー側のOPEN/CLOSEボタンを同時に押した場合、どちらのトレイも開きません。OPEN/CLOSEボタンは、どちらか一つずつ押してください。

ディスクを認識する

本機のレコーダー側のトレイにCD-RまたはCD-RWディスクを入れると、ディスクの種類の確認とディスクごとに最適な制御をするための学習動作をします。この間(約25秒)、表示窓に [CD-RW]、[CD-R]、[CD] が同時に点灯します。確認と学習が終わると、[CD-RW] または [CD-R] どちらかが点灯します。

※ディスクに録音するスペースがない場合、表示窓に「No Remain」と表示されます。

※ディスクに録音できる最大数は99曲です。

それを超える場合は、表示窓に「Trk No. Full」と表示され録音できません。

※ダビングを途中でやめると、再生中にその箇所からノイズが聞こえることがあります。

※ディスクによって認識するのに時間がかかるものがあります。

リモコンを使うとき

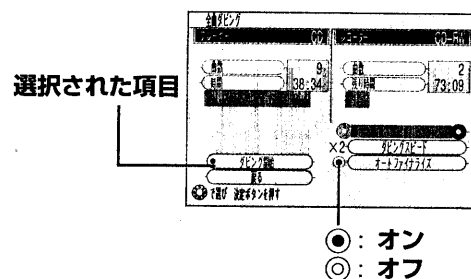
次の手順にしたがってCD録音メニューを表示させて、本機をリモコンで操作する：

- ①本機とテレビを接続する。 [12]
- ②テレビの電源を入れ、チャンネルを「ビデオ」にする。
- ③本機の電源を入れ、リモコンのCD 録音メニューボタンを押す。



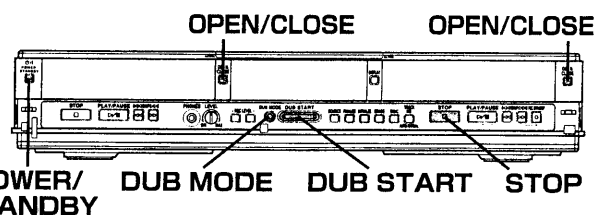
メニューの項目を選ぶ

下の画面の状態を選びます。



■全曲ダビングする(全曲ダビング)

本機で操作する



電源プラグをコンセントにつないだとき、STANDBYインジケータが赤く点灯します。

1 POWERボタンを押す

- 正面のPOWER/STANDBYボタンを押します。
- STANDBYインジケータが消灯し、[ACTIVE]インジケータが点灯します。(プレーヤー側)



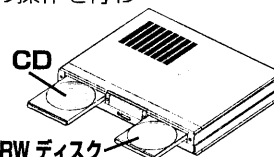
2 プレーヤー側とレコーダー側のOPEN/CLOSEボタンを押してトレイを出す

- ボタンは別々に押します。



3 ディスクを入れる

- レーベル面を上にしてディスクのガイドに合わせて置きます。
- OPEN/CLOSEボタンを押してトレイを閉じます。
- 表示窓に [CD-RW] または [CD-R] のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。



CD-R または CD-RW ディスク

4 DUB MODEボタンを押してダビングモードを選ぶ

- 表示窓に「ALL DUB」が表示されるまで押します。表示は以下のように変わります。

All Dub → Single Dub → Program Dub
↑ ディスクの状態 ↓

- DUB START ボタンが点滅します。

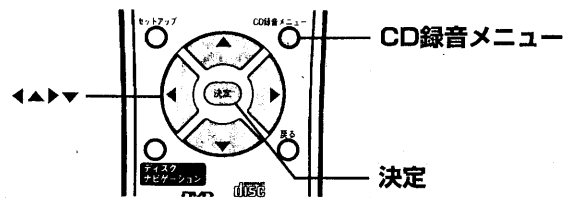
5 DUB STARTボタンを押す

- ダビングが始まりDUB START ボタンが点灯します。
- 2倍速でダビングします。1倍速でダビングするには、リモコンでの操作が必要です。ダビング終了後、自動でファイナライズします。ファイナライズしたくない場合は、リモコンでの操作が必要です。 [34]
- ダビングが終わると表示窓に「Finished!」が表示されます。

6 レコーダー側のSTOPボタンを押す

- ダビングを終了します。

テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する

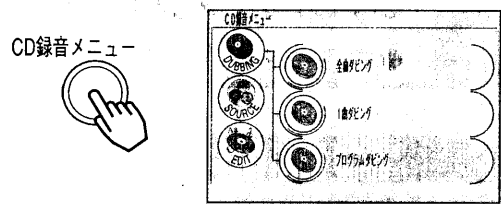


ダビングスピードを選ぶ
 ●◀▶▶▶ ボタンで画面上の「ダビングスピード」を選びます。決定を押すと標準(×1)/倍速(×2)の切り換えができます。

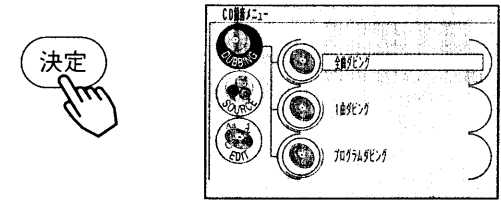
オートファイナライズを切り換える
 ●◀▶▶▶ ボタンで画面上の「オートファイナライズ」を選びます。決定を押すとオン/オフの切り換えができます。

1 ディスクを入れる

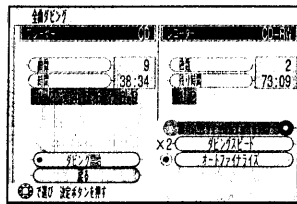
2 CD録音メニューボタンを押す



3 「DUBBING」を選び、決定ボタンを押す

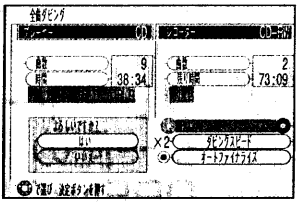


4 「全曲ダビング」を選び、決定ボタンを押す

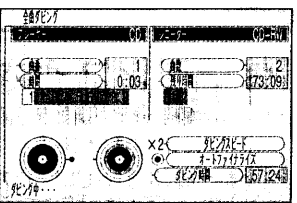


お知らせ コピープロテクトされている曲は画面に表示されないので、実際の曲数と画面に表示される曲数が合わないことがあります。

5 「ダビング開始」を選び、決定ボタンを押す



6 「はい」を選び、決定ボタンを押す



- ダビングが始まります。
- 「いいえ」を選ぶと、手順5に戻ります。
- ダビングが終わると、表示窓に「Finished!」、画面上に「終了しました 決定ボタンを押して下さい」と表示されます。

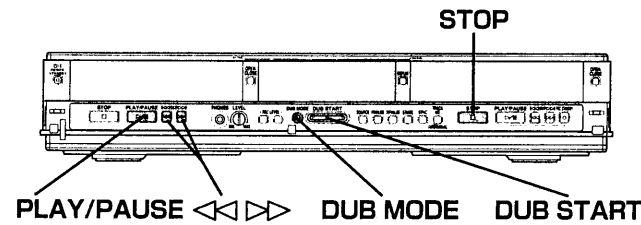
7 「OK」を選び、決定ボタンを押す



- CD録音メニューが消えます。

1曲だけダビングする(1曲ダビング)

本体で操作する



1 ディスクを入れる

- プレーヤー側とレコーダー側のOPEN/CLOSEボタンをどちらか1つずつ押し、トレイを開けます(同時に押さないでください)。
- トレイにディスクを置き、OPEN/CLOSEボタンをどちらか1つずつ押し、トレイを閉める。
- 表示窓に「CD-RW」または「CD-R」のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

2 DUB MODEボタンを押して、ダビングモードを選ぶ

- 表示窓に「Single Dub」が表示されるまで押し続けます。

3 ▶▶ または ◀◀ で選曲して、PLAY/PAUSEボタンを押す

- 選んだ曲が決定されます。

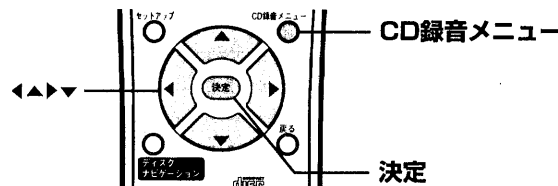
4 DUB STARTボタンを押す

- ダビングが始まります。
- ダビングが終わると、表示窓に「Finished!」が表示されます。

5 STOPボタン(レコーダー側)を押す

- ダビングを終了します。

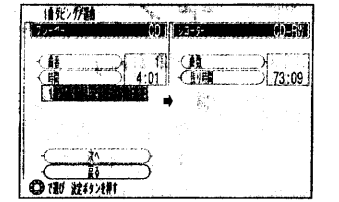
テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する



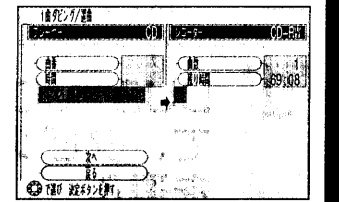
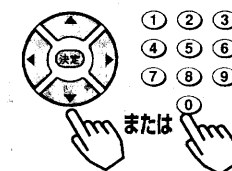
1 ディスクを入れ、CD録音メニューを表示させる

- 22ページの手順1~3を操作してください。

2 ▼ または ▲ ボタンで「1曲ダビング」を選び、決定ボタンを押す



3 ▶ または ◀ ボタンで選曲し、決定ボタンを押す



- 数字ボタンを押しても選曲できます。
- 選曲した後、「次へ」を選び、決定ボタンを押します。

お知らせ 曲を選曲している時に、ディスクに入っている曲がすべて表示されていても、コピープロテクトされている曲は選べません。

4 「ダビング開始」を選び、決定ボタンを押す



5 「はい」を選び、決定ボタンを押す

- ダビングが始まります。
- ダビングが終わると、表示窓に「Finished!」、画面上に「終了しました 決定ボタンを押して下さい」が表示されます。

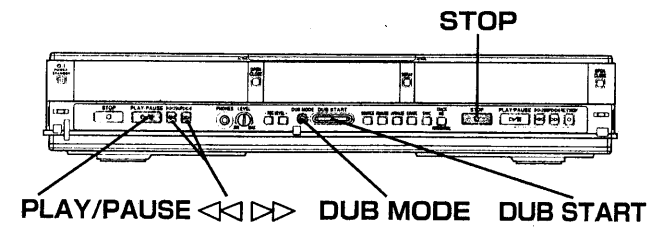
6 「OK」を選び、決定ボタンを押す



- CD録音メニューが消えます。

お好みの曲順にプログラムしてダビングすることができます。

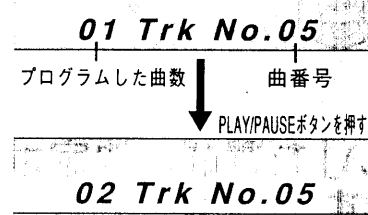
本体で操作する



1 ディスクを入れる
 ●プレーヤー側とレコーダー側のOPEN/CLOSEボタンをどちらか1つずつ押し、トレイを開けます(同時に押さないでください)。
 ●トレイにディスクを置きOPEN/CLOSEボタンをどちらか1つずつ押し、トレイを閉じます。
 ●表示窓に[CD-RW]または[CD-R]のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

2 DUB MODEボタンを押して、ダビングモードを選ぶ
 ●表示窓に「Program Dub」が表示されるまで押します。

3 ▷ または ◀ ボタンで曲を選び、PLAY/PAUSEボタンを押す



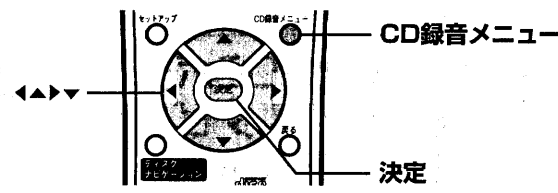
●録音したい曲を1曲ずつ選びます。
 ●12曲まで選曲できます。

4 DUB STARTボタンを押す
 ●ダビングが始まります。
 ●ダビングが終わると、表示窓に「Finished!」が表示されます。

5 STOPボタンを押す
 ●ダビングを終了します。

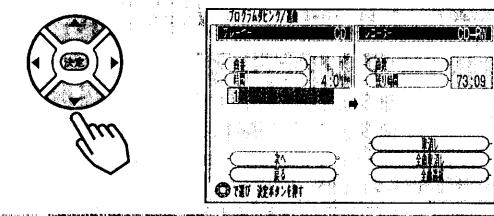
メモ
 ●本体からの操作で選曲の取り消しはできません。リモコンのCD録音メニューボタンで取り消してください。

テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する

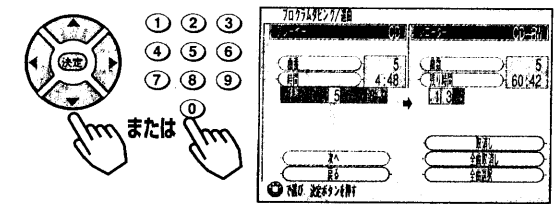


1 ディスクを入れ、CD録音メニューを表示させる
 ●22ページの手順1~3を操作してください。

2 ▼ または ▲ ボタンで「プログラムダビング」を選び、決定ボタンを押す



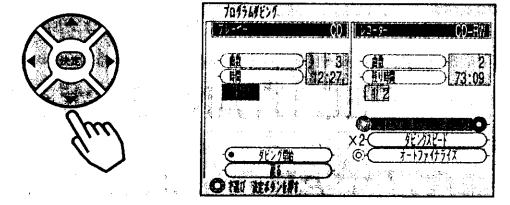
3 ▶ または ◀ ボタンで曲を選び、決定ボタンを押す



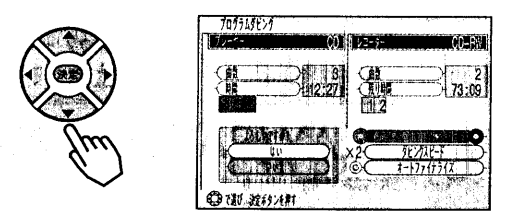
●録音したい曲を1曲ずつ選びます。
 ●数字ボタンでも選ぶことができます。
 ●「全曲選択」を選ぶと、すべての曲を選ぶことができます。

お知らせ 曲を選択している時に、ディスクに入っている曲がすべて表示されていても、コピープロテクトされている曲は選べません。

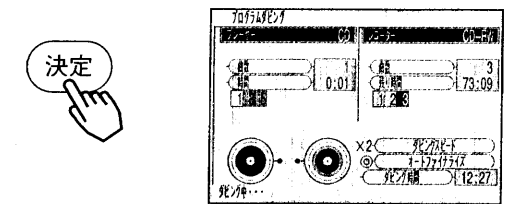
4 選曲が終わったら、「次へ」を選び、決定ボタンを押す



5 「ダビング開始」を選び、決定ボタンを押す



6 「はい」を選び、決定ボタンを押す



●ダビングが始まります。
 ●「いいえ」を選ぶと、手順5に戻ります。
 ●ダビングが終わると、表示窓に「Finished!」、画面上に「終了しました 決定ボタンを押して下さい」が表示されます。

7 「OK」を選び、決定ボタンを押す

●CD録音メニュー画面が消えます。

メモ

- 選んだ曲を取り消す**
 ●選んだ曲を1曲ずつ取り消す場合は、「取消し」を選び、決定ボタンを押します。一番最後に選曲した曲から取消されていきます。
- 全曲取り消す**
 ●「全曲取消し」を選び、決定ボタンを押します。
- ダビングスピードを選ぶ**
 ●◀▶▶▶ ボタンで画面上の「ダビングスピード」を選びます。決定ボタンを押すと標準(X1)/倍速(X2)の切り換えができます。
- オートファイナライズを切り換える**
 ●◀▶▶▶ ボタンで画面上の「オートファイナライズ」を選びます。決定を押すとオン/オフの切り換えができます。

録音する

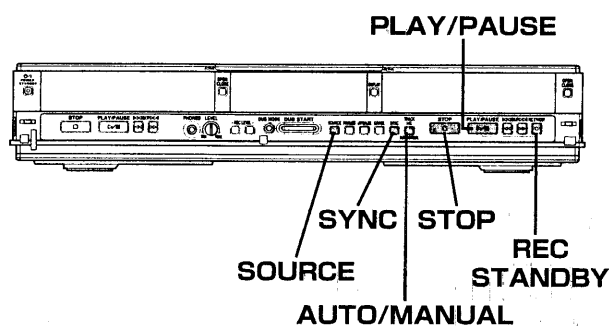
MD、DATプレーヤーなどのデジタル機器から録音する場合は、オート曲番機能を使って、デジタルシンクロ録音をおすすめします。本機とデジタル機器を同軸デジタルケーブルまたは光デジタルケーブルで接続してください。

- デジタルシンクロ録音はデジタル機器が再生を始めると、本機の録音も自動的に始まる機能です。
- オート曲番は録音中にデジタル信号を検出して、トラック番号を自動的に更新する機能です。

メモ

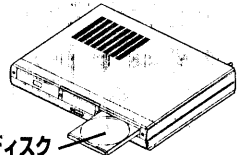
- 本機と他のプレーヤーが同軸デジタルケーブルまたは光デジタルケーブルで接続されていることを確認してください。
- デジタル機器を接続したら、録音する音がモニターで聞こえることを確かめてください。モニターは、D.Mixedのアナログ出力端子がヘッドホンで確認できます。もし音声がモニターできない時は、電源のオン/オフをしてください。
- 録音を始める前にデジタル機器が演奏を停止していることを確認してください。
- 他の機器の演奏を録音する場合(光デジタル入力、同軸デジタル入力、アナログ入力)、本機からの操作で他の機器の再生、トレイの開閉などはできません。

本体で操作する



1 レコーダー側のトレイにディスクを入れる

- 表示窓に[CD-RW]または[CD-R]のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。



CD-R または CD-RW ディスク

2 SOURCEボタンを押して、「Optical In」を選ぶ

Optical In

- 「Optical In」、「Coaxial In」、「Analog In」の順に表示が切り替わります。
- 同軸デジタルケーブルで接続した場合、「Coaxial In」が表示されるまでSOURCEボタンを押してください。

3 SYNCボタンを押し、「Sync On」がセットされていることを確認する

Sync On

- デジタル機器の再生が始まるとすぐに、本機の録音が自動的に始まります。

4 AUTO/MANUALボタンを押し、「Auto Trk On」がセットされていることを確認する

Auto Trk On

- 録音しながら自動的にトラック番号を更新します。

5 REC STANDBYボタンを押す

Please Wait

Rec Start

- 外部入力のデジタル信号がない時は「Please Wait」の後に「No Input」と表示されます。

6 PLAY/PAUSEボタンを押す

No Signal

7 接続しているプレーヤーの再生を始める

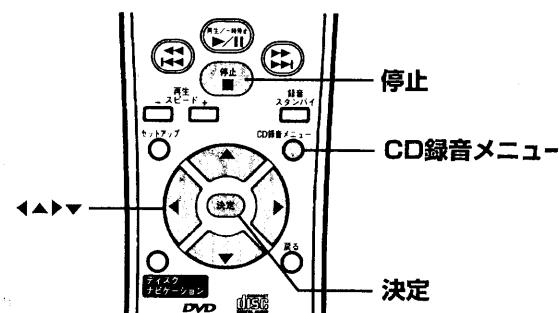
Disc 73:00

- 本機の録音が自動的に始まります。

8 STOPボタンを押す

- 録音を終了します。

テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する



1 本機のレコーダー側のトレイにディスクを入れる

- 表示窓に[CD-RW]または[CD-R]のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

2 CD録音メニューボタンを押す

CD録音メニュー

3 ▼または▲ボタンを押して「SOURCE」を選び、決定ボタンを押す

4 「光デジタル入力」を選び、決定ボタンを押す

- 同軸デジタルケーブルで接続した場合は「同軸デジタル入力」を選んで、決定ボタンを押します。

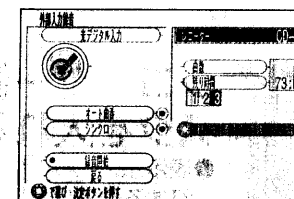
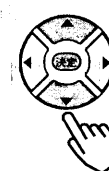
5 「オート曲番」がセットされていることを確認する

- 録音しながら自動的にトラック番号を更新します。

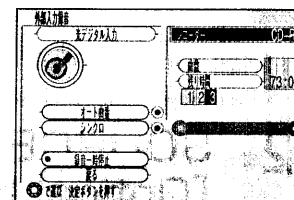
6 「シンクロ」がセットされていることを確認する

- デジタル機器の再生が始まるとすぐに、本機の録音が自動的に始まります。

7 ▼または▲ボタンで「録音スタンバイ」を選び、決定ボタンを押す



8 「録音開始」を選んで、決定ボタンを押す



9 接続しているプレーヤーの演奏を始める

- 本機の録音が自動的に始まります。
- 録音中に「録音一時停止」を選んで、決定ボタンを押すと、録音が一時停止します。

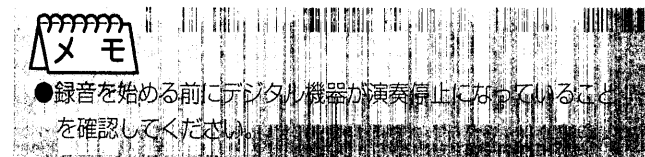
10 停止ボタンを押す

- 録音を終了します。

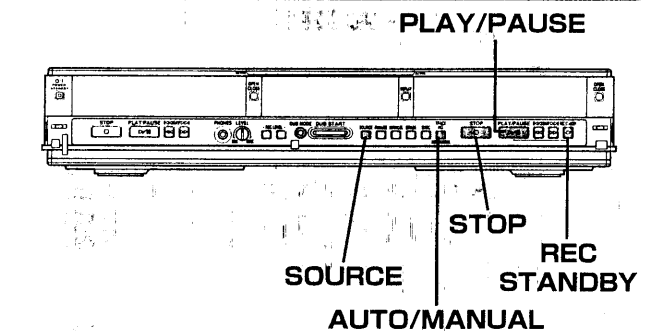


MD、DATプレーヤー以外のデジタル機器から、デジタル録音する場合に使用します。

■録音しながら、トラック番号を自動的に更新させる(オート曲番号)

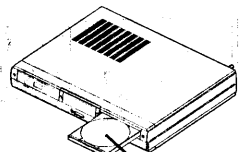


本体で操作する



1 レコーダー側のトレイにディスクを入れる

●表示窓に「CD-RW」または「CD-R」のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。



CD-RまたはCD-RW ディスク

2 SOURCEボタンを押して、「Optical In」を選ぶ

●「Optical In」、「Coaxial In」、「Analog In」の順に表示が切り替わります。
●同軸デジタルケーブルで接続した場合、表示窓に「Coaxial In」が表示されるまでSOURCEボタンを押してください。

3 SYNCボタンを押して、「Sync Off」がセットされていることを確認する

Sync Off

4 AUTO/MANUALボタンを押し、「Auto Trk On」がセットされていることを確認する

Auto Trk On

●録音しながら自動的にトラック番号を更新します。

5 REC STANDBYボタンを押す

Please Wait

Rec Start

●外部入力のデジタル信号がない時は「Please Wait」の後に「No Input」と表示されます。

6 PLAY/PAUSEボタンを押す

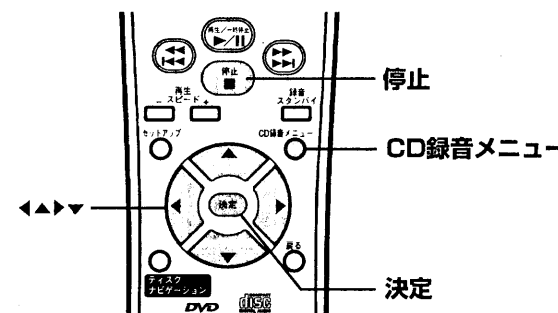
Disc 73:00

●本機の録音が始まります。
●本機の録音が始まってから、デジタル機器の演奏を始めてください。
●録音中にPLAY/PAUSEボタンを押すと、録音が一時的に停止します。

7 STOPボタンを押す

●録音を終了します。

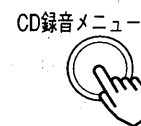
テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する



1 レコーダー側のトレイにディスクを入れる

●表示窓に「CD-RW」または「CD-R」のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

2 CD録音メニューボタンを押す



3 ▼または▲ボタンで「SOURCE」を選び、決定ボタンを押す



4 「光デジタル入力」を選び、決定ボタンを押す

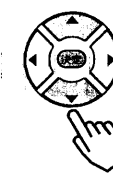


●同軸デジタルケーブルで接続した場合は「同軸デジタル入力」を選んで、決定ボタンを押します。

5 「オート曲番」がセットされていることを確認する

●録音しながら自動的にトラック番号を更新します。

6 ▼または▲ボタンで「シンクロ」を選び、決定ボタンを押す



●「シンクロ」のセットが取り消されます。

7 ▼または▲ボタンで「録音スタンバイ」を選び、決定ボタンを押す



8 ▼または▲ボタンで「録音開始」を選び、決定ボタンを押す



●本機の録音が始まります。
●本機の録音が始まってから、デジタル機器の演奏を始めてください。
●録音中に「録音一時停止」を選んで、決定ボタンを押すと、録音が一時的に停止します。

9 停止ボタンを押す

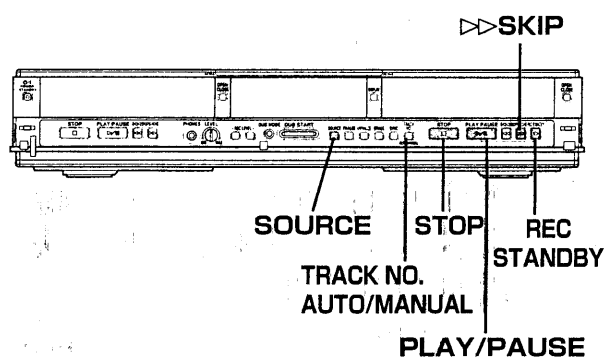


●録音を終了します。

■録音中に自分でトラック番号を更新する(マニュアル曲番号)

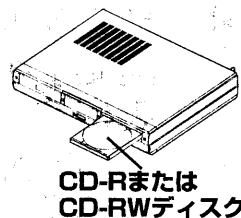
メモ
●録音を始める前にデジタル機器が演奏停止していることを確認してください。

本体で操作する



1 レコーダー側のトレイにディスクを入れる

●表示窓に[CD-RW]または[CD-R]のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。



CD-RまたはCD-RWディスク

2 SOURCEボタンを押して、「Optical In」を選ぶ

Optical In

- 「Optical In」、「Coaxial In」、「Analog In」の順に表示が切り換わります。
- 同軸デジタルケーブルで接続した場合、「Coaxial In」が表示されるまでSOURCEボタンを押してください。

3 SYNCボタンを押し、「Sync Off」がセットされていることを確認する

Sync Off

4 AUTO/MANUALボタンを押して、「Auto Trk Off」を表示させる

Auto Trk Off

5 REC STANDBYボタンを押す

Please Wait

Rec Start

- 外部入力のデジタル信号がない時は「Please Wait」の後に「No Input」と表示されます。

6 PLAY/PAUSEボタンを押す

Disc 73:00

- 本機の録音が始まります。
- 本機の録音が始まってから、デジタル機器の演奏を始めてください。
- 録音中にPLAY/PAUSEボタンを押すと、録音が一時停止します。

7 TRACK NO.ボタンを押して、トラック番号を更新する

- 録音中にボタンを押すとトラック番号が1つ更新されます。
- 本体のレコーダー側の ▷▷ SKIPボタンまたはリモコンの ▷▷ スキップボタンを押してもトラック番号が更新されます。一時停止中に押しても、トラック番号を更新しません。

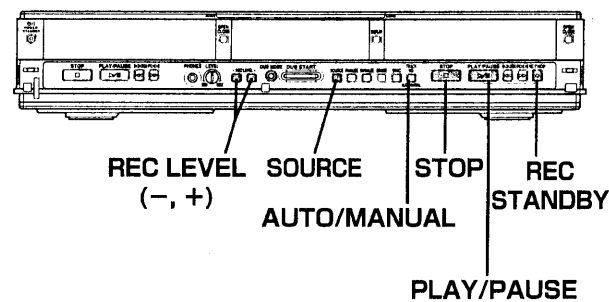
8 STOPボタンを押す

- 録音を終了します。

カセットデッキなどのアナログ機器から、アナログ録音する場合に使います。

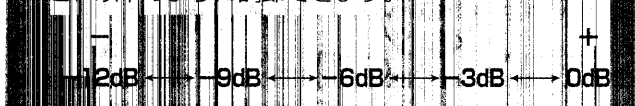
■録音しながらトラック番号を自動的に更新させる(オート曲番号)

本体で操作する



メモ
録音レベルを調節する

- 本体の正面にあるREC LEVEL(-/+)ボタンを押すと、以下のように調節できます。



1 レコーダー側のトレイにディスクを入れる

- 表示窓に[CD-RW]または[CD-R]のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。



CD-RまたはCD-RWディスク

2 SOURCEボタンを押して、「Analog In」を選ぶ

Analog In

- 「Optical In」、「Coaxial In」、「Analog In」の順に表示が切り換わります。
- 録音レベルを調節してください。

メモ
●アナログ機器がオーディオコードで接続されていることを確認してください。
●録音を始める前にアナログ機器が演奏停止していることを確認してください。
●大きな音を録音すると歪むことがあります。その場合、アナログ機器側の出力を下げてください。

3 AUTO/MANUALボタンを押して、「Auto Trk On」がセットされていることを確認する

Auto Trk On

- 録音中、無録音部分(3秒)を検出すると、トラック番号を自動的に更新します。

4 REC STANDBYボタンを押す

Please Wait

Rec Start

5 PLAY/PAUSEボタンを押す

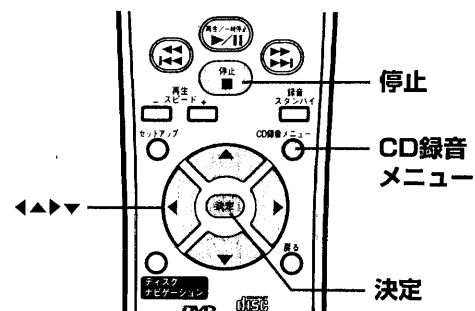
Disc 73:00

- 本機の録音が始まります。
- 本機の録音が始まってから、アナログ機器の演奏を始めてください。
- 録音中にPLAY/PAUSEボタンを押すと、録音が一時的に停止します。

6 STOPボタンを押す

- 録音を終了します。

テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する



録音レベルを調節する
●画面上の「録音レベル」の「-」または「+」を選び、決定ボタンを押して調節します。

1 レコーダー側のトレイにディスクを入れる
●表示窓に[CD-RW]または[CD-R]のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

2 CD録音メニューボタンを押す

3 ▼または▲ボタンで「SOURCE」を選び、決定ボタンを押す

4 ▼または▲ボタンで「アナログ入力」を選び、決定ボタンを押す

●録音レベルを調節してください。

5 「オート曲番」がセットされているか確認する
●録音しながら自動的にトラック番号を更新します。

6 ▼または▲ボタンで「録音スタンバイ」を選び、決定ボタンを押す

7 「録音開始」を選び、決定ボタンを押す

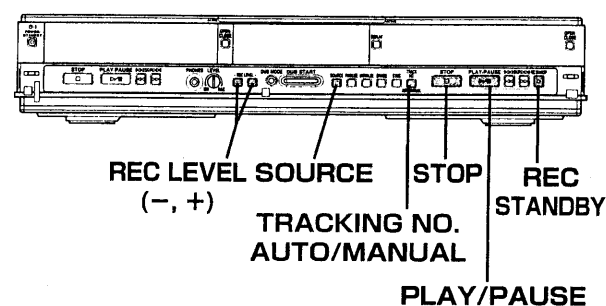
●本機の録音が始まります。
●本機の録音が始まってから、アナログ機器の演奏を始めてください。

8 停止ボタンを押す

●録音を終了します。

録音しながら自分でトラック番号を更新する (マニュアル曲番号)

本体で操作する



録音レベルを調節する
●本体の正面にあるREC LEVEL(-,+)ボタンを押すと、以下のように調節できます。

1 レコーダー側のトレイにディスクを入れる
●表示窓に[CD-RW]または[CD-R]のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

2 SOURCEボタンを押して、「Analog In」を選ぶ

●「Optical In」、「Coaxial In」、「Analog In」の順に表示が切り替わります。

3 AUTO/MANUALボタンを押して、「Auto Trk Off」を表示させる

●録音レベルを調節してください。

メモ
●アナログ機器がオーディオコードで接続されていることを確認してください。
●録音を始める前にアナログ機器が演奏停止していることを確認してください。

4 REC STANDBYボタンを押す

Rec Start

5 PLAY/PAUSEボタンを押す

Recording

●本機の録音が始まります。
●本機の録音が始まってから、アナログ機器の演奏を始めてください。
●録音中にPLAY/PAUSEボタンを押すと、録音が一時停止します。

6 TRACK NO.ボタンを押して、トラック番号を更新する

●ボタンを押すとトラック番号が1つ更新されます。

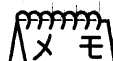
7 STOPボタンを押す

●録音を終了します。

録音する

■ファイナライズとは

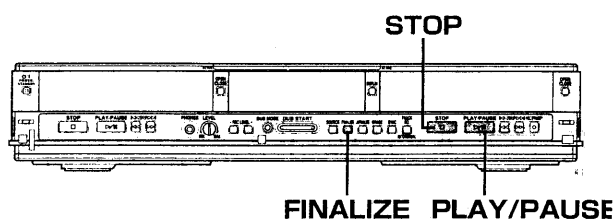
●ファイナライズとは録音を終了したCD-RまたはCD-RWディスクを一般のCDプレーヤーで演奏できるように処理することです。



- ファイナライズされたディスクは録音できません。ご注意ください。
- ファイナライズの処理中は電源を切らないでください。ディスクを破損する原因となります。

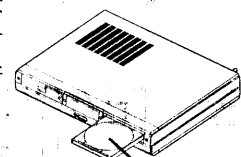
■ファイナライズのしかた

本体で操作する



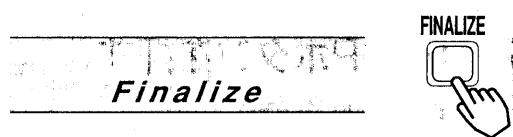
1 レコーダー側のトレイに録音が終了したCD-RまたはCD-RWディスクを入れる

- 表示窓に [CD-RW] または [CD-R] のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。



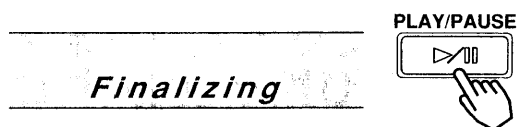
録音されている CD-R または CD-RW ディスク

2 FINALIZEボタンを押す



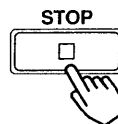
- ファイナライズのスタンバイ状態になります。

3 PLAY/PAUSEボタンを押す



- ファイナライズが始まります。
- ファイナライズが完了するまでに約2分かかります。
- ファイナライズが完了すると、表示窓に「Finished!」と表示されます。
- ファイナライズを開始すると、処理が完了するまで他の操作を受け付けません。

4 STOPボタンを押す

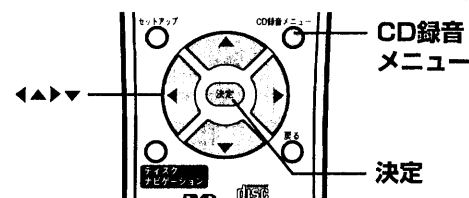


- ファイナライズが終了します。

■全曲ダビングまたはプログラムダビングの終了後にオートファイナライズする

- 本機には全曲ダビングまたはプログラムダビングが完了すると自動的にファイナライズする機能があります。「オートファイナライズ」をオンに設定するとダビング終了後、自動的にファイナライズ処理を行います。

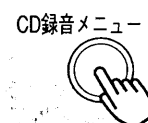
テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する



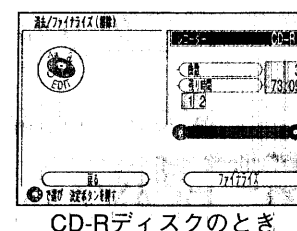
1 レコーダー側のトレイに録音が終了したCD-RまたはCD-RWディスクを入れる

- 表示窓に [CD-RW] または [CD-R] のどちらかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

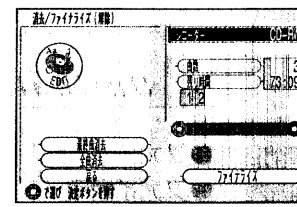
2 CD録音メニューボタンを押す



3 ▼または▲ボタンで「EDIT」を選び、決定ボタンを押す

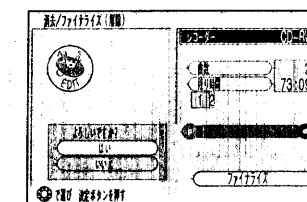


CD-Rディスクのとき

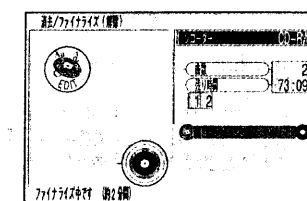


CD-RWディスクのとき

4 「ファイナライズ」を選び、決定ボタンを押す



5 「はい」を選び、決定ボタンを押す



- ファイナライズが始まります。
- ファイナライズが完了するまでに約2分かかります。
- ファイナライズを開始すると、処理が完了するまで他の操作を受け付けません。

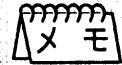
6 「OK」を選び、決定ボタンを押す



- ファイナライズを終了します。

■ファイナライズ解除とは

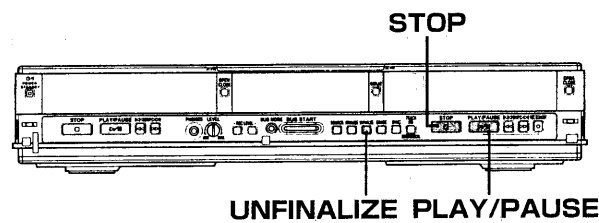
●ファイナライズ解除とは、ファイナライズしたCD-RWディスクを再び録音できるように処理することです。



- ファイナライズ解除されたディスクは、一般のCDプレーヤーでは演奏できません。
- ファイナライズ解除できるのは、CD-RWディスクだけです。
- ファイナライズ解除中は絶対に電源を切らないでください。ディスクの破損の原因となります。
- ディスクをファイナライズ解除しただけでは、録音した内容は消えません。記録した部分にもう一度録音する場合は、録音した内容を消去してください。

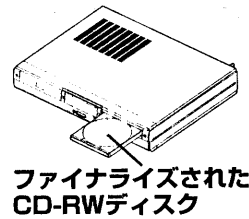
■ファイナライズ解除のしかた

本体で操作する

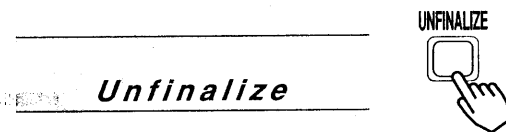


1 レコーダー側のトレイにファイナライズされたCD-RWディスクを入れる

- 表示窓に「CD-RW」が点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

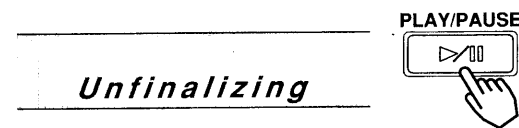


2 UNFINALIZEボタンを押す



- ファイナライズ解除のスタンバイ状態になります。

3 PLAY/PAUSEボタンを押す

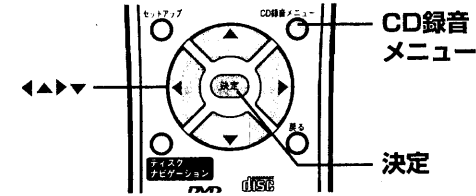


- ファイナライズ解除が始まります。
- ファイナライズ解除が完了するまでに約2分かかります。
- ファイナライズ解除が完了すると、表示窓に「Finished!」と表示されます。
- ファイナライズ解除を開始すると、処理が完了するまで他の操作を受け付けません。

4 STOPボタンを押す

- ファイナライズ解除を終了します。

テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する



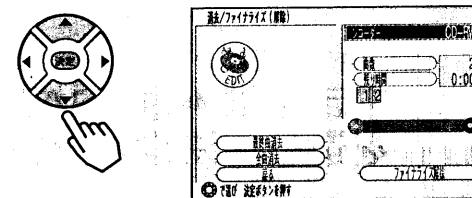
1 レコーダー側のトレイにファイナライズされたCD-RWディスクを入れる

- 表示窓に「CD-RW」が点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

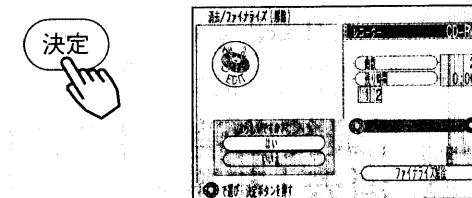
2 CD録音メニューボタンを押す



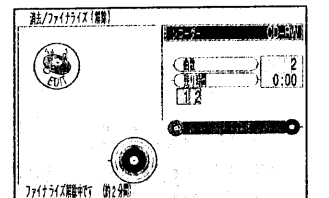
3 ▼または▲ボタンで「EDIT」を選び、決定ボタンを押す



4 「ファイナライズ解除」を選び、決定ボタンを押す



5 「はい」を選び、決定ボタンを押す



- ファイナライズ解除が始まります。
- ファイナライズ解除が完了するまでに約2分かかります。
- ファイナライズ解除を開始すると、処理が完了するまで他の操作を受け付けません。

6 「OK」を選び、決定ボタンを押す



- ファイナライズ解除を終了します。

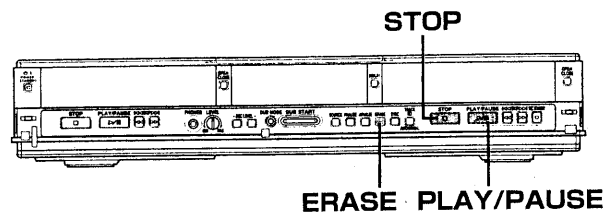
消去する (CD-RW)

RECORDER CD-RW

CD-RWディスクは、録音した内容を消去できます。消去方法は以下の2通りがあります。

- Last Erase (最終曲消去) : ディスクに録音されている一番最後の曲を消去する。
- All Erase (全曲消去) : ディスクに録音されている全ての曲を消去します。

消去のしかた 本体で操作する



1 レコーダー側のトレイに録音されたCD-RWディスクを入れる

- 表示窓に [CD-RW] が点灯するまでは、次の操作を行わないでください。



2 ERASEボタンを押す

Last Erase

- 最終曲消去スタンバイ状態になります。
- ERASEボタンを押すたびに、以下のように表示が切り換わります。

Last Erase → All Erase → ディスクの状態 (最終曲を消去する) (全曲を消去する)

3 PLAY/PAUSEボタンを押す

Erasing

- 消去が始まります。
- 消去が完了すると、表示窓に「Finished!」と表示されます。

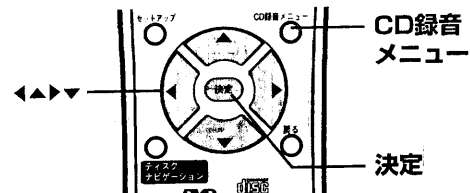
4 STOPボタンを押す

- 消去を終了します。

メモ

- 消去した内容は元に戻りません。
- 消去できるのはCD-RWディスクだけです。
- ファイナライズされたディスクは消去する前にファイナライズ解除してください。[36]
- 消去中に電源が切れた場合は、電源を入れなおし、もう一度消去してください。

テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する

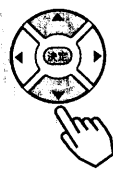


1 レコーダー側のトレイに録音されたCD-RWディスクを入れる

2 CD録音メニューボタンを押す



3 ▼または▲ボタンで「EDIT」を選び、決定ボタンを押す



4 「最終曲消去」または「全曲消去」を選んで、決定ボタンを押す

- 「はい」を選び、決定ボタンを押す。
- 消去を終了します。

5 「OK」を選び、決定ボタンを押す

- 消去を終了します。

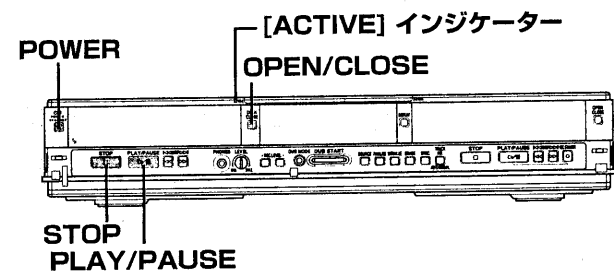
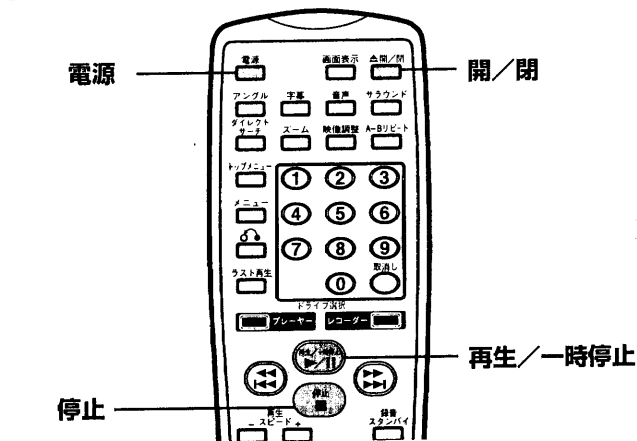
見る・聞く

このページ以降は、主にプレーヤー側でDVD、ビデオCD、CDディスクをお楽しみいただくための操作や設定のしかたが説明されています。

RECORDER が表示されている機能では、レコーダー側でCDディスクのみを操作することができます。

再生する

PLAYER RECORDER DVD VCD CD



電源プラグをコンセントに差し込むとSTANDBYインジケータが赤く点灯します。

1 POWERボタンを押す

- 正面のPOWER/STANDBYボタンを押します。
- STANDBYインジケータが消灯し、[ACTIVE]インジケータが点灯します。(プレーヤー側)

2 OPEN/CLOSEボタンを押す

- トレイが出てきます。

3 ディスクを置く

- レーベル面を上にし、ディスクのガイドに合わせて置きます。
- 表示窓に [DVD]、[VCD]、[CD]、のうち、いずれかが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

4 PLAYボタンを押す

- 自動的にトレイが閉まり、再生を開始します。
- 正面のPLAY/PAUSEボタンを押します。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されます。[42]

ディスクを入れると、ディスクの種類の確認とディスクごとに最適な制御をするための学習動作をします。この間(約15秒)、表示窓に [DVD]、[VCD]、[CD] が同時に点灯します。確認と学習が終わると [DVD]、[VCD]、[CD] の内のひとつが点灯します。

操作を終了する

PLAYER RECORDER DVD VCD CD

DVDやビデオCDをつづきから見る

DVDやビデオCDは、前回見たつづきから見るができます。[43]

再生を一時停止する

再生/一時停止ボタンを押すと、再生を一時停止します。もう一度再生/一時停止ボタンを押すと一時停止したところから再生が始まります。

- DVD、ビデオCDでは静止画になります。
- 一時停止が約20分間つづくと、自動的に停止状態になります。

メモ ●停止状態が約30分間つづくと、自動的に電源が切れてスタンバイ状態になります。

1 STOPボタンを押す

- 再生を終了します。

2 OPEN/CLOSEボタンを押す

- トレイが出てきます。

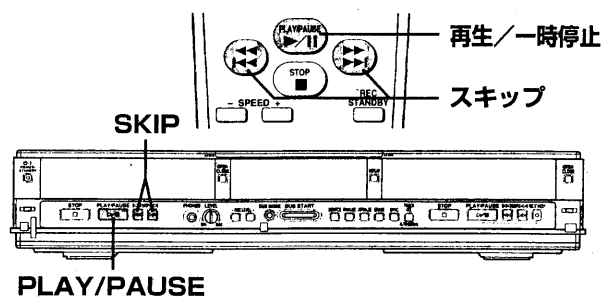
3 ディスクを取り出す

4 POWER/STANDBYボタンを押す

- トレイが閉まり電源が切れます。本体の[ACTIVE]インジケータが消灯し、STANDBYインジケータが点灯します。

見る・聞く

ディスクを再生中に次のチャプター/トラックへ進ませたり、前のチャプター/トラックへ戻したりすることができます。



次のチャプター/トラックへ進める SKIP ▶▶ ボタンを押す

- ボタンを押すごとに次のチャプター/トラックに進みます。
- ボタンを押しつづけると、早送り (X2) になります。CDの場合は (X20) になります。



前のチャプター/トラックへ戻す

SKIP ◀◀ ボタンを押す

- 1度押しと再生しているチャプター/トラックの初めに戻ります。さらに押しと前のチャプター/トラックの先頭に戻ります。
- ボタンを押しつづけると、早戻し (X2) になります。CDの場合は (X20) になります。



早送りをする

SKIP ▶▶ ボタンを押しつづける

- 見たい場面でボタンを離すと、つづきを再生します。



早戻しをする

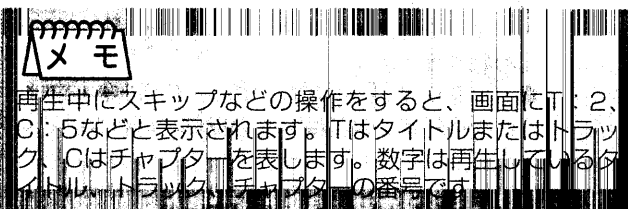
SKIP ◀◀ ボタンを押しつづける

- 見たい場面でボタンを離すと、つづきを再生します。



■タイトル/チャプター/トラックについて
DVDは、ディスクの内容をタイトルでわけ、さらにタイトルの中をチャプターでわけています。ビデオCD、CDでは、ディスクの内容をトラックでわけています。

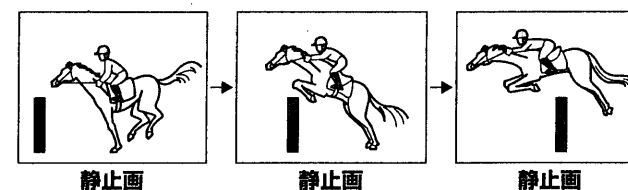
DVD				CD, ビデオCD				
ディスク		ディスク		ディスク				
タイトル1	タイトル2	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5		
チャプター-1	チャプター-2	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5		



ご注意

- DVDの場合、これらの操作をタイトル間をまたがって操作することはできません。
- レコーダーを使用時に、最後の曲から最初の曲に戻ることができます。またその逆の操作もできます。
- ビデオCDの場合、PBC (プレイバックコントロール) がオフのときに、SKIP ▶▶、◀◀ ボタンでトラックを進めたり戻したりすることができます。PBCがオンのときは、PBCに従った操作をします。

ディスクを再生中に映像を止めて見たり (静止画)、1コマずつ見たり (コマ送り) することができます。



ジョグを右方向に回すたびに、1コマずつ映像が進みます。(ジョグを左方向に回すと、約0.5秒前のコマに進みます。)

静止画再生 (映像を止めて見る)

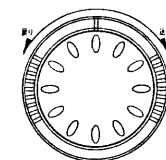
PLAY/PAUSE ボタンを押す



- 映像が静止画になり、表示窓の文字が点滅します。

コマ送り再生 (映像を1コマずつ見る)

ジョグを回す



- 右方向に回すと、映像が1コマずつ進みます。
- 左方向に回すと、映像が1コマずつ戻ります。

普通の再生に戻す

PLAY/PAUSE ボタンを押す



- 再生を再び始めます。

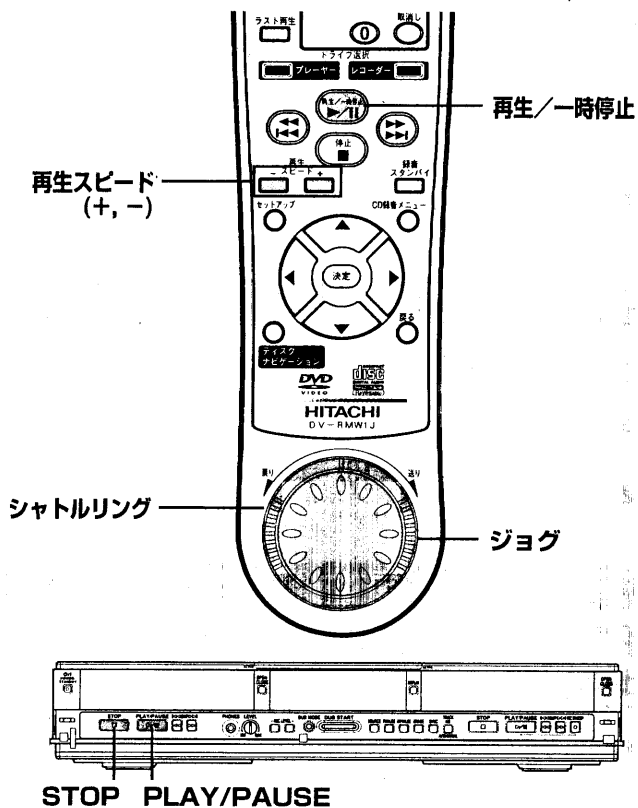
メモ

- 静止画再生中は、音声聞こえません。
- ディスクによって、一時停止ができないものがあります。その場合は、⊙マークが画面に表示されます。
- スクリーンセーバーをオンに設定してあるときに静止画再生のままにしておくと、スクリーンセーバーの画面に変わります。いずれかの操作ボタンを押すと静止画に戻ります。
- DVDの静止画再生中に画面が揺れることがあります。この場合、セットアップ画面の一時停止画像の設定をフリッカーレスにしてください。

ご注意

- DVDの場合、前のチャプターへのコマ戻しはできません。
- コマ送り・戻しのコマの間隔は、バラつくことがあります。

簡単に再生のスピードを変えることができます。



ジョグで操作する

ジョグとシャトルリングはプレーヤー側のみ操作できます。

1 再生中に再生/一時停止ボタンを押す

●映像が静止画になります。

2 ジョグを回す

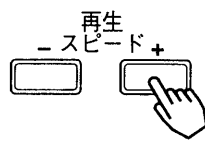
左方向 (逆転再生) 右方向

ゆっくり回す…コマ送りをします。
少し早く回す…スロー再生をします。
早く回す…ノーマル再生をします。

●逆転スロー再生はできません。
●CDでは操作できません。

テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する

静止画再生中、または再生中に再生スピード(+/-)ボタンを押す



●ボタンを押すごとに、再生スピードが変わります。

※プレーヤーの場合

DVD、ビデオCD	120倍速	30倍速	10倍速	2倍速	1倍速	静止画	1/2速	1/4速	1/8速	1倍速	2倍速	10倍速	30倍速	120倍速
	逆転再生						スロー					早送り		
CD	30倍速	20倍速	10倍速	5倍速	1倍速	一時停止	1倍速	5倍速	10倍速	20倍速	30倍速			
	逆転再生							ノーマル再生						

※レコーダーの場合

	2倍速	1倍速	1倍速	2倍速
	逆転再生		一時停止	早送り

普通の再生に戻す

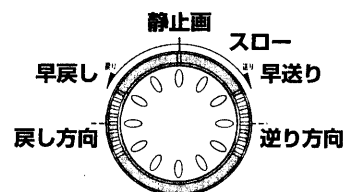
再生/一時停止ボタンを押す



シャトルリングで操作する

静止画再生中、または再生中にシャトルリングを回す

●120倍速まで早送り、早戻しをすることができます。

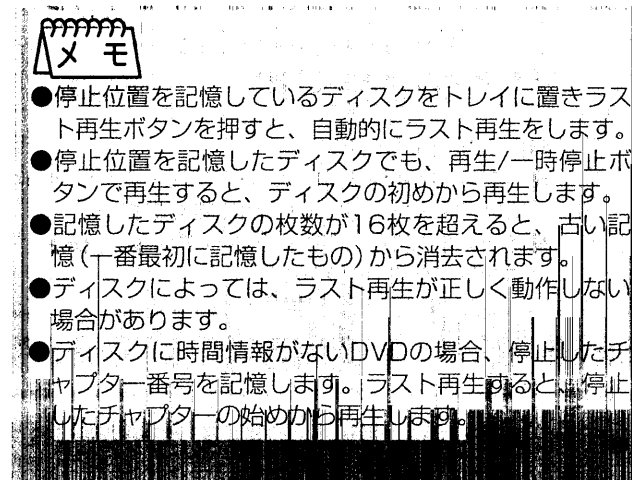


●シャトルリングを操作したあとは、静止画になります。つづけて見るときは再生/一時停止ボタンを押します。

メモ

- 音声は正常に聞こえるのは、普通の再生スピードのときだけです。
- DVDとビデオCDの逆転再生および10倍速以上の早送りはとびとびの映像になります。
- ノーマル再生以外の再生速度は目安です。

前回見たつづきから再生することができます。再生を停止したところを最高16枚まで自動的に記憶します。



つづきから見る

停止位置を記憶しているディスクをセットすると、表示窓にLASTが点灯します。

停止中に表示窓に「LAST」が点灯しているとき、ラスト再生ボタンを押す

- 前回再生を停止したところから再生が始まります。
- 停止中に表示窓に「LAST」が点滅しているときは、再生を停止させてからラスト再生ボタンを押します。



記憶させる

停止ボタンを押す

- 停止した位置を自動的に記憶します。
- 再生を始めて約1分間は表示窓に「LAST」が点滅しています。点滅している間は停止ボタンを押しても停止位置を記憶しません。前回の記憶を保持します。
- ディスクを取り出しても、電源を切っても、記憶は消えません。

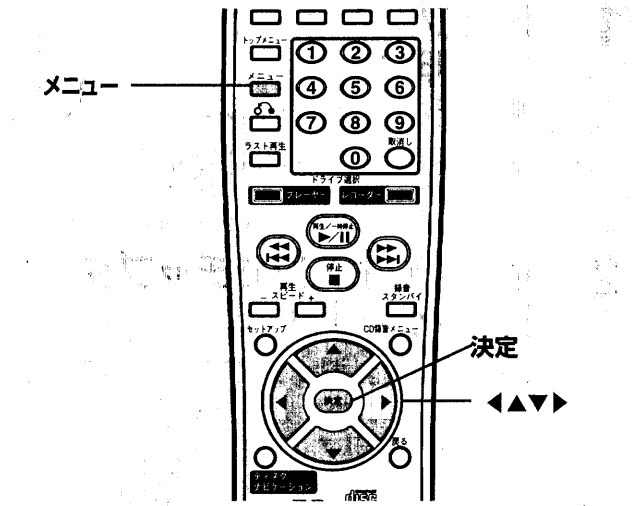


自動続き再生機能について

ディスクを入れたまま電源を切ると自動続き再生がセットされ、次に再生するときに自動的に前回停止した位置から始まります。この機能を動作させるには、セットアップメニューで「自動続き再生」をオンに設定しておきます。

ディスクのメニュー画面から再生する

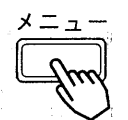
DVD・ビデオCDは、ディスクによってメニュー画面を備えたものがあります。メニュー画面から再生したい項目、表示したい字幕言語、聞きたい音声言語などが選べます。



DVDのとき

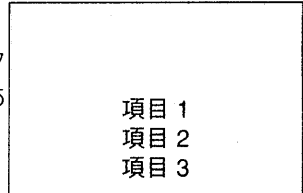
1 メニューボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。
- メニュー画面はディスクによって異なります。



2 ◀▶▶▶ ボタンで項目を選ぶ

- DVDによっては、リモコンの数字ボタンで選べるものもあります。



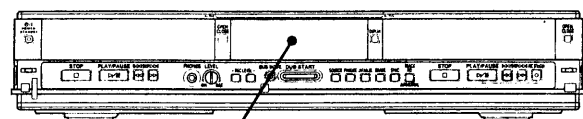
3 決定ボタンを押す

- 項目が決定します。



- ディスクによっては、再生ボタンを押して表示させるものもあります。

見る・聞く



PBC インジケーター

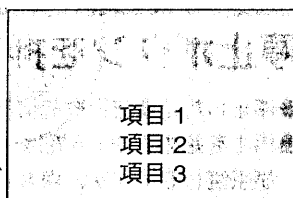
PBC対応のビデオCDのとき

1 PBC対応のビデオCDを再生する

- メニュー画面が表示されます。

2 数字ボタンで項目を選ぶ

- 数字ボタンを押すと、項目の番号が画面に表示され決定します。
- ビデオCDによっては、再生ボタン、スキップ **▶▶**、**◀◀** ボタン、リターンボタンで操作できるものもあります。

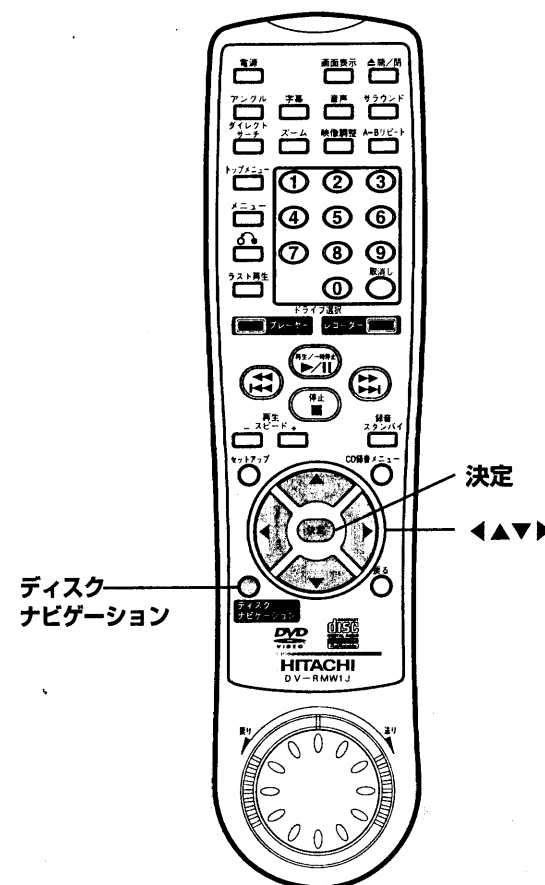


3 数字ボタンを押しても、再生を開始しないときは、決定ボタンを押す

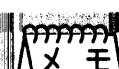
- 再生が始まります。
- メニュー画面または、前のメニュー画面に戻るには、リターンボタンを押してください。
- ビデオCDによっては、スキップ **▶▶**、**◀◀** ボタンで切り換えます。



- DVDによっては、メニュー画面がなくトップメニュー画面のみ備えている場合があります。
- メニューボタンを押しても、メニューが呼び出せないときはトップメニューボタンを押してください。
- DVDによっては、メニュー画面もトップメニュー画面もない場合があります。
- PBC対応ビデオCDは、表示窓にPBCが表示されます。
- PBC機能を使わないで再生するときは、メニューボタンを押します。表示窓のPBCは消えます。このとき、メニュー画面などは再生できません。PBC機能を使うには、もう一度メニューボタンを押します。



ディスクナビゲーション機能は、ディスクに記録されている各チャプター (DVD) またはトラック (ビデオCD) の最初の画面を表示することができます。



- 手順3で決定ボタンを押す前に、ディスクナビゲーションボタンを押すと、ディスクナビゲーション機能が停止し、元の映像に戻ります。
- 選択を右端へ移動させてさらに **▶** ボタンを押すと次のページが表示されます。選択を左端へ移動させてさらに **◀** ボタンを押すと前のページに戻ります。
- 他のタイトル番号を表示させたいときは、**▲** ボタンでタイトル番号を選び、**◀▶** で表示したいタイトル番号を選びます。
- ビデオCDでディスクナビゲーション機能を使うと、PBCが自動的に解除されます。
- レコーダー側 (のドライブ) を選択しているときに、ディスクナビゲーションボタンを押すと、プレーヤー側 (のドライブ) が選択され、ディスクナビゲーション画面が表示されます。(プレーヤー側のトレイにディスクが入っていない場合は、プレーヤー側に切り換わるだけです。)
- ディスクによっては、ディスクナビゲーション画面の一部が表示されなかったり、位置がずれてしまうことがあります。故障ではありません。

1 ディスクナビゲーションボタンを押す

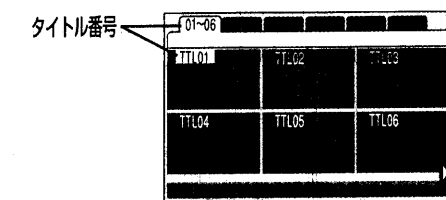
- 各チャプター/トラックの最初の画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ ボタンでチャプター/トラックを選ぶ

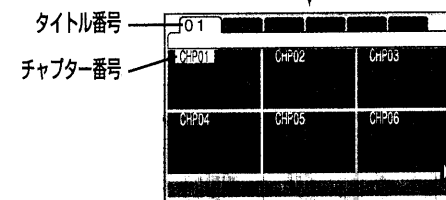
- ▶ボタンを押すたびに、次のページが表示されます。

DVD

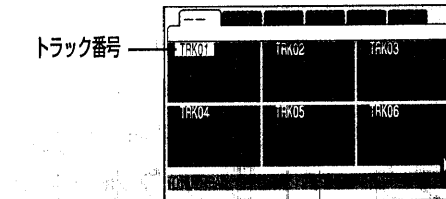
- タイトルを選んでから、チャプターを選びます。



↓ タイトル番号を選び、決定ボタンを押す



ビデオCD

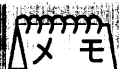


3 決定ボタンを押す

- 再生が始まります。
- 再生ボタンを押しても、再生が始まります。

トップメニュー画面から再生する **PLAYER DVD**

DVDによっては、複数のタイトルを記録し、トップメニューを備えたディスクがあります。この場合は、トップメニュー画面から再生すると便利です。



- ディスクによっては、トップメニュー画面から再生できないものもあります。
- ディスクによっては、メニューボタン、トップメニューボタンのどちらを押しても、同じ画面を表示するものがあります。

1 トップメニューボタンを押す

- トップメニュー画面が表示されます。
- トップメニュー画面はディスクによって変わります。

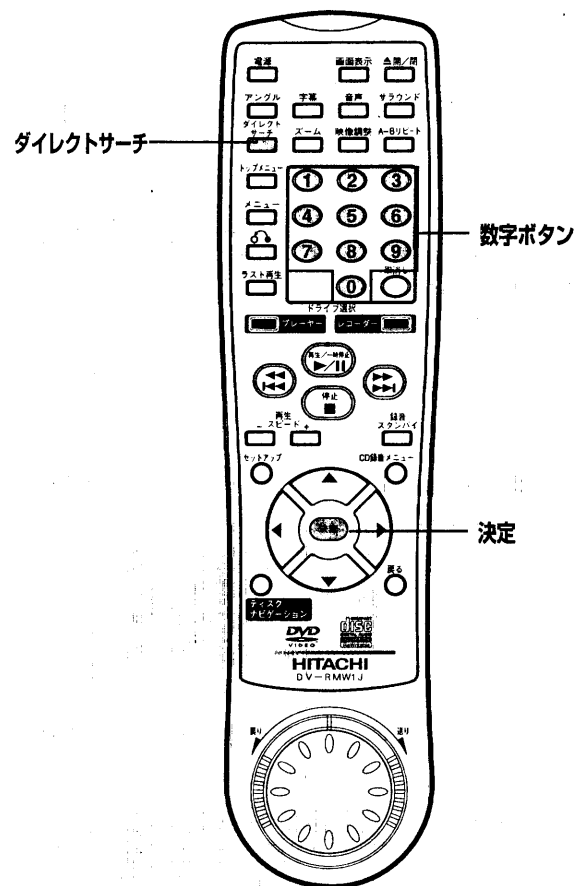
2 ◀▶▶▶ ボタンでチャプター/トラックを選ぶ

- ディスクによっては、数字ボタンで選べるものがあります。

3 決定ボタンを押す

- 項目が決定します。
- 以下のメニューに従って操作します。

見る・聞く



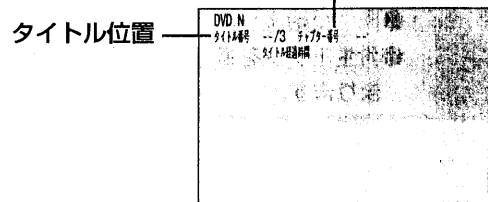
1 ダイレクトサーチボタンを押す

- モード表示画面が表示されます。

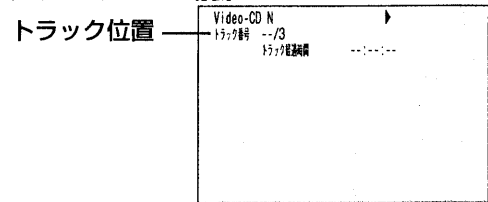
2 数字ボタンでタイトル/チャプター/トラックを設定する

- タイトル番号の文字が黄色になります。

DVDの場合



ビデオCD、CDの場合



- タイトル番号またはトラック番号の分母は記録されている総タイトル数、総トラック数です。

例1. タイトルの3を選ぶとき

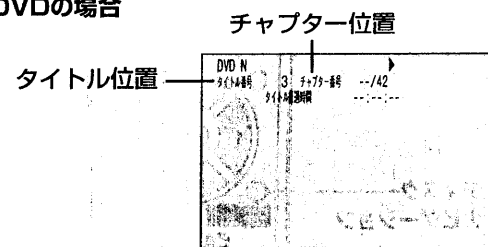


例2. タイトルの10を選ぶとき



- DVDのときは、さらにダイレクトサーチボタンでチャプターを選び、数字ボタンで希望のチャプターを設定します。

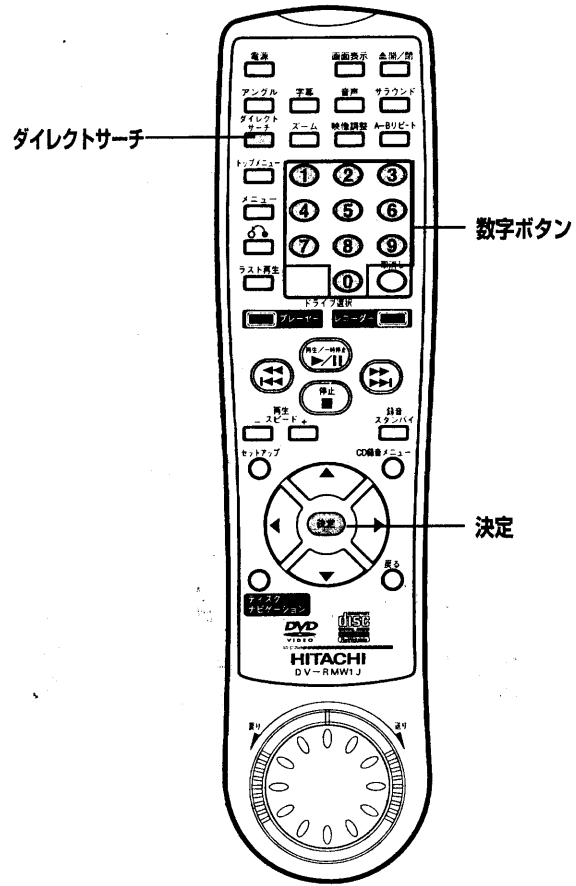
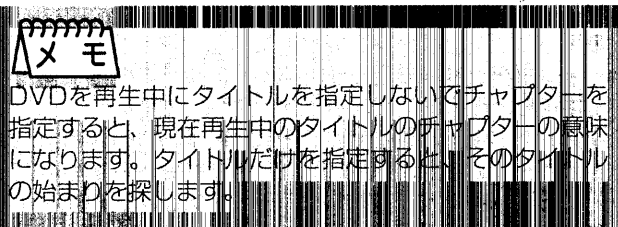
DVDの場合



チャプター番号の分母は、指定したタイトルに含まれる総チャプター数です。

3 決定ボタンを押す

- 指定したタイトル/チャプター/トラックの画面から再生します。
- 再生/一時停止ボタンでも再生が始まります。
- 設定を取り消したいときは、取消しボタンを押します。



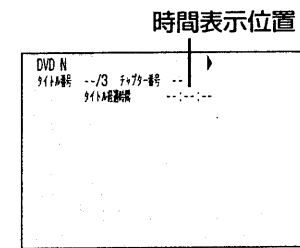
1 ダイレクトサーチボタンを押す

- モード表示画面を表示します。
- タイトル/トラック番号を入力する。

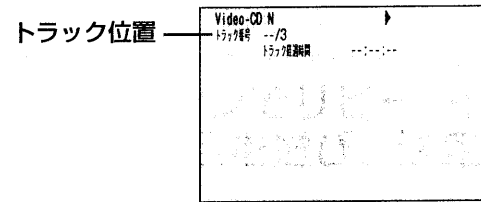
2 ダイレクトサーチボタンで時間表示位置を選ぶ

- 選ばれると時間表示が00:00:00になります。

DVDの場合

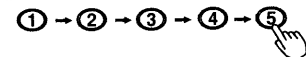


ビデオCD、CDの場合



3 数字ボタンで時間を設定する

例1: 23:45を設定する

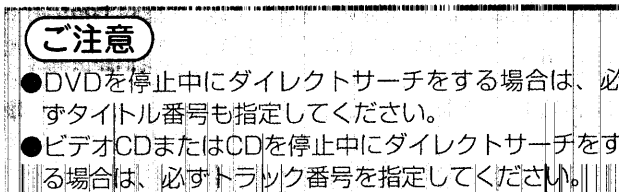
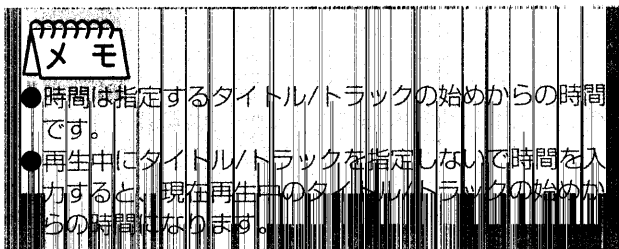


数字ボタンを押すごとに、次のように表示されます。

00:00:01
00:00:12
:
01:23:45

4 決定ボタンを押す

- 指定したタイトル/トラックの指定した時間の画面から再生します。
- 再生/一時停止ボタンでも再生が始まります。
- 設定を取り消したいときは、取消しボタンを押します。



見る・聞く

CDはテレビ画面を見なくても、本機の表示窓だけで操作できます。

メモ

- トラック番号を入力したあと▶ボタンを押すと、表示窓が時間入力モードになって、H、M、Sが点滅します。数字ボタンで時間を入力し、決定ボタンを押すと、指定したトラックの指定した時間から再生します。時間はそのトラックの始まりからの時間です。

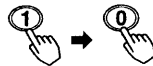
1 数字ボタンでトラック番号を選ぶ

●10番目以降の曲を選ぶときは、2秒以内に次の数字を入力してください。

例1. トラック3を選ぶとき



例2. トラック10を選ぶとき



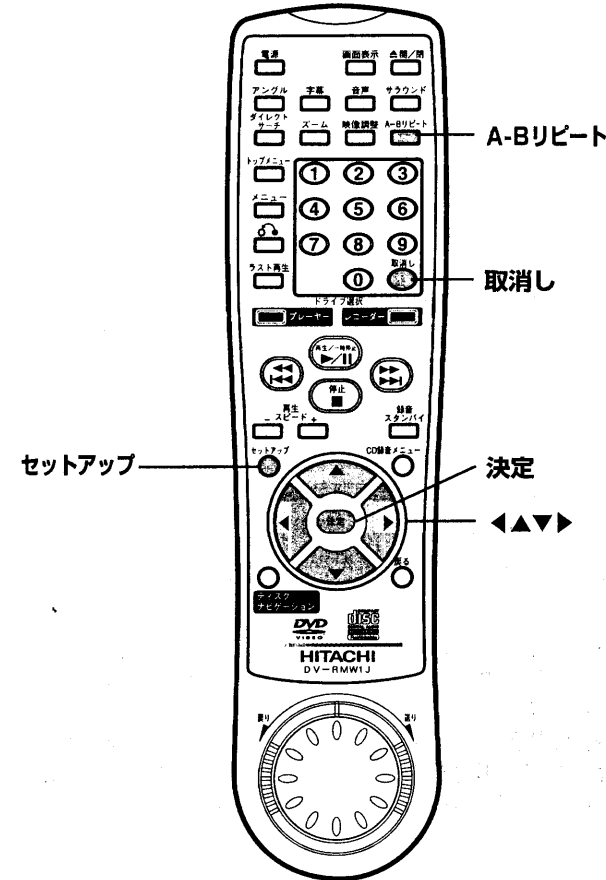
●ボタンを押し間違えた場合は、取消しボタンを押すと消去されます。また、数字ボタンで再入力すると、上書きします。

2 決定ボタンを押す

- 指定したトラック番号を再生します。
- 再生ボタンでも再生が始まります。



再生中のディスク、タイトル、チャプター、トラックを繰り返して再生することができます。また、指定した箇所を繰り返し再生することができます。



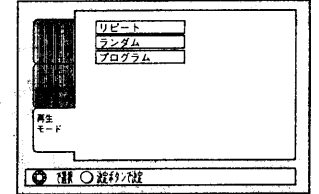
ディスク、タイトル、チャプター、トラックをリピート再生する

1 セットアップボタンを押す

●セットアップ画面が表示されます。

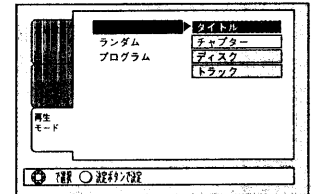


2 ◀▶▶▶ボタンで「再生モード」を選ぶ



3 ◀▶▶▶ボタンで「リピート」を選ぶ

4 ◀▶▶▶ボタンでリピート再生したい項目を選び、決定ボタンを押す



- 再生中の場合は
セットアップメニュー終了後再生中のタイトル/チャプター/トラックに関するリピート再生を始めます。
- 停止中の場合は
セットアップメニュー終了後タイトル/チャプター/トラックサーチ[46]によりリピート再生したいタイトル/チャプター/トラックを選び、再生を始めます。
- ディスクを選択するとディスク全体(ビデオCD、CD)をリピート再生します。
- 再生ボタンでも再生が始まります。

リピート再生を停止する

取消しボタンを押す

- リピート再生を終了し、再生はそのままつづきます。
- 停止ボタンを押すとリピート再生を終了し、停止します。



ご注意

- トラックのリピート再生、ディスクのリピート再生、ランダム再生、プログラム再生では録音はできません。
- レコーダー側でファイナライズされていないCD-R、CD-RWディスクのA-Bリピート再生はできません。
- ディスクによってはリピート再生できないものがあります。
- ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生したとき(PBC再生)、ディスクリピートやトラックリピートを行うことができません。

指定した箇所をリピート再生する

繰り返したい始めと終わりの箇所で、A-Bリピートボタンを押す。

- A-Bリピートボタンを、もう一度押すと取り消されます。



ディスクのタイトル、チャプター、トラックを本機が順不同に並べ替えて再生します。すべての再生が終わると停止します。

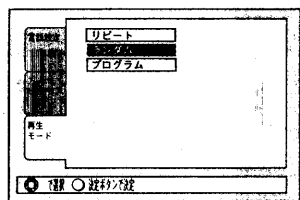
ランダム再生する

1 **セットアップボタンを押す** セットアップ

- セットアップ画面が表示されます。

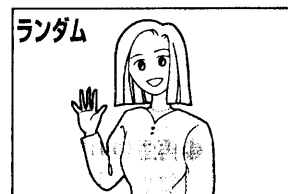
2 **◀▶▶▶ボタンで「再生モード」を選ぶ**

3 **◀▶▶▶ボタンで「ランダム」を選ぶ**



4 **決定ボタンを押す**

- 画面にRANDOMが表示され、ランダム再生を始めます。



ランダム再生を停止する

取消しボタンを押す 取消し

- ランダム再生を終了し、現在再生しているチャプター/トラックのあとを順番に再生していきます。
- 停止ボタンを押すとランダム再生を終了し、停止します。

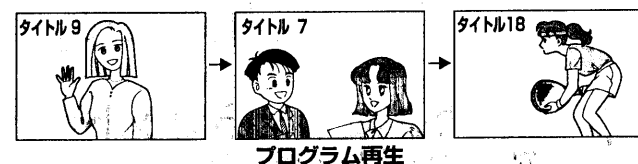
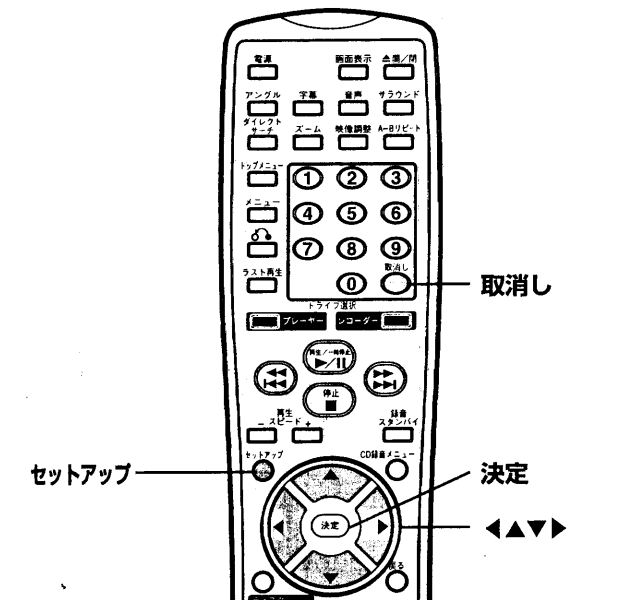
■ランダム再生中に

- SKIP ▶▶ボタンを押すと、次にプレーヤーが選ぶチャプター/トラックが再生されます。
- SKIP ◀◀ボタンを押すと、ひとつ前に再生したチャプター/トラックに戻ります。

メモ

- ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。
- ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生した場合 (PBC再生)、ランダム再生をするとPBCが解除されます。
- プログラムした内容をランダム再生することはできません。
- ランダム再生で再生できるのは、最大99のチャプター/トラックです。

お好みの順番で再生することができます。プログラムする内容はディスクによって異なります (DVDではタイトルとチャプター、ビデオCD、CDではトラック)。



メモ

- ビデオCD、CDのときは、多少画面が異なります。
- タイトル、チャプター、プログラム、全曲取り消し、再生の各位置へ移動するには ▶ ボタンを使います。
- プログラム数の最大は99です。
- 設定したプログラム再生が終了すると停止状態になります。
- ディスクによっては、プログラム再生できないものや途中で停止するものがあります。
- ビデオCDでは、メニューCD画面を表示して再生した場合 (PBC再生) やランダム再生すると、PBCが解除されます。

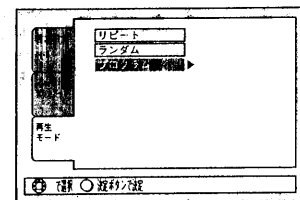
プログラムを設定する

1 **セットアップボタンを押す** セットアップ

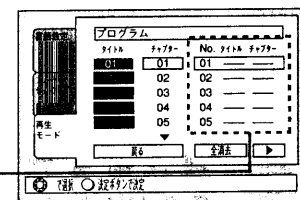
- セットアップ画面が表示されます。

2 **◀▶▶▶ボタンで「再生モード」を選ぶ**

3 **◀▶▶▶ボタンで「プログラム」を選び、決定ボタンを押す** 決定

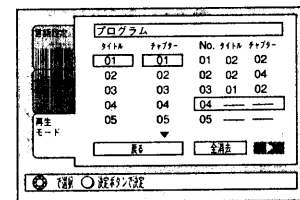


4 **◀▶▶▶ボタンでお好みのタイトルとチャプターを選び、決定ボタンを押す** 決定

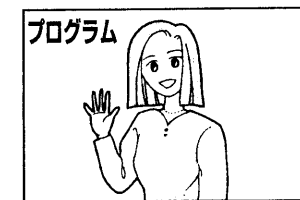


- この操作を行うことに、ひとつずつプログラムリストに登録されます。
- ビデオCD、CDのときは、トラックを選びます。

5 **◀▶▶▶ボタンで ▶ を選び、決定ボタンを押す**



- テレビ画像にPROGRAMが表示され、プログラム再生が始まります。



- 再生/一時停止ボタンでも再生が始まります。

見る・聞く

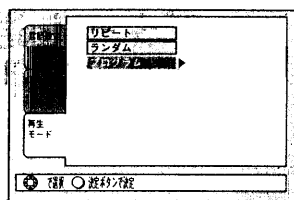
プログラムをすべて取り消す

1 セットアップボタンを押す

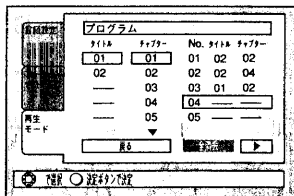
●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ ボタンで「再生モード」を選ぶ

3 ◀▶▶▶ ボタンで「プログラム」を選び、決定ボタンを押す



4 ◀▶▶▶ ボタンで「全消去」を選び、決定ボタンを押す



- セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。
- ひとつずつ消すには、プログラムリストから◀▶▶▶ ボタンで消したいプログラム番号を選び、取消しボタンを押します。

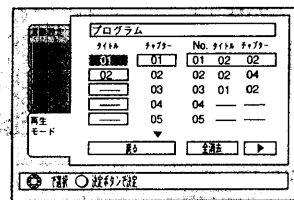
プログラムを確認する

1 セットアップボタンを押す

●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ ボタンで「再生モード」を選ぶ

3 ◀▶▶▶ ボタンで「プログラム」を選び、決定ボタンを押す



4 確認が終了したらセットアップボタンを押す

●セットアップメニューが消えます。

プログラム再生を停止する

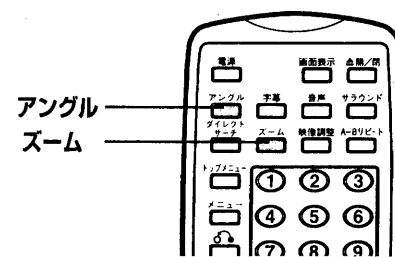
取消しボタンを押す

- プログラム再生を終了し、現在再生されているプログラムのあとの曲を順番に再生していきます。
- 停止ボタンを押すとプログラム再生を終了し、停止します。

ご注意

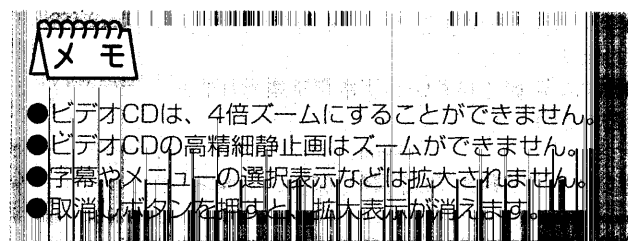
- ビデオCDをメニュー画面を表示して再生したとき (PBC時)、プログラム再生をすることができません。
- チャプターの移り変わりのときは、一瞬プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。

画面の一部を2倍、4倍に拡大することができます。



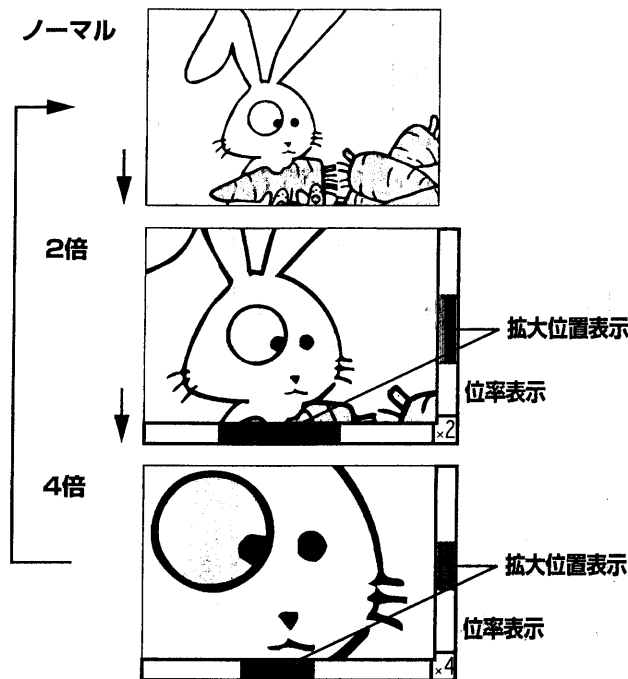
再生中にズームボタンを押す

- ボタンを押すたびに画面が切り換わります。
- 画面に拡大位置と倍率が表示されます。



ご注意

- ズームにすると、通常の画面では気にならない部分も、拡大されるため画質は劣化します。2倍よりも4倍の方が画質は劣化します。
- ズーム中は、画像がゆれることがあります。



- ズーム再生中に◀▶▶▶ ボタンを押すと、拡大位置を変更することができます。
- 数字ボタンの①~⑨でも拡大位置を変更することができます。

- ① 左上
- ② 上
- ③ 右上
- ④ 左
- ⑤ 中央
- ⑥ 右
- ⑦ 左下
- ⑧ 下
- ⑨ 右下

見たい方向からの映像を選ぶ (アングル)

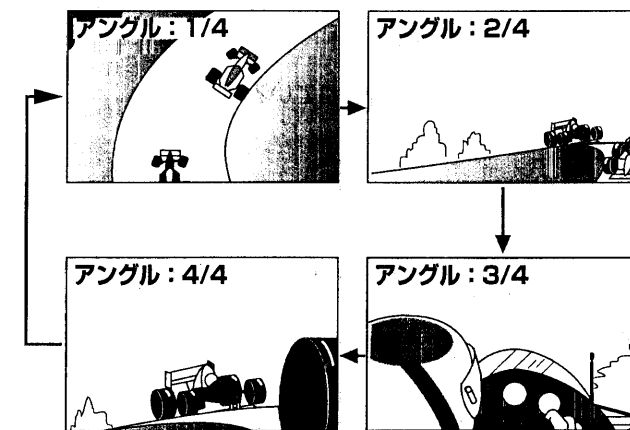
複数の方向から映された映像が記録されたDVDで選ぶことができます。

再生中、表示窓にANGLEが点滅しているとき、アングルボタンを押す

- ボタンを押すたびに画面が切り換わります。
- 画面に選択されているアングルの番号が表示されます。例：4つのアングルが記録されている場合

メモ

- マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。また、複数のアングルが記録されているディスクでも表示窓のANGLEが点滅していないときは切り換えができません。
- アングルボタンを押してからアングルが切り変わるまでに数秒かかります。
- ディスクによっては、ANGLEが点滅していても、アングル切り換えできないものがあります。

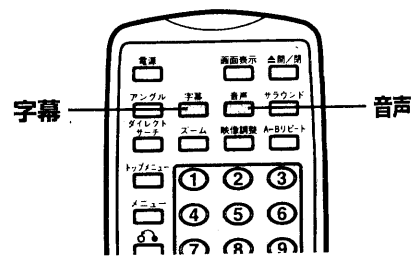


分母：記録されているアングルの総数を示します。
分子：選択されているアングル番号を示します。

字幕言語を選ぶ

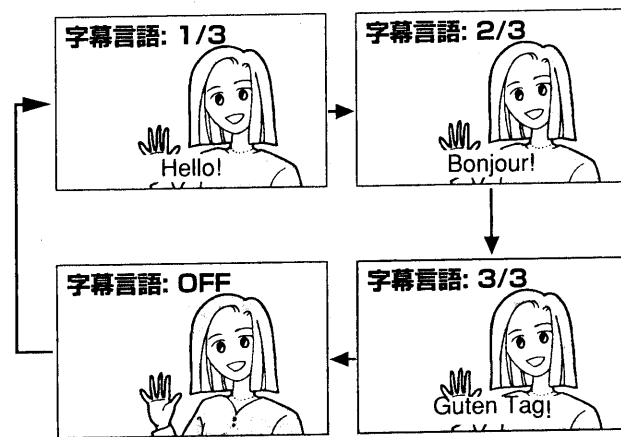
PLAYER DVD

複数の字幕言語が記録されたDVDでは、字幕言語を選ぶことができます。



■サブタイトルの表示を消す

再生中に字幕ボタンを押しオフを選びます。またはサブタイトルメニューが表示されているときにオフを選びます。



再生中に字幕ボタンを押す

- 字幕ボタンを押すごとに字幕言語が切り換わります。
- 画面に選択されている字幕言語番号が表示されます。

例：3つの字幕言語が記録されている場合

分母：記録されている字幕言語の総数を示します。
分子：選択されている字幕言語番号を示します。
オフ：字幕言語を表示しません。

音声言語を選ぶ

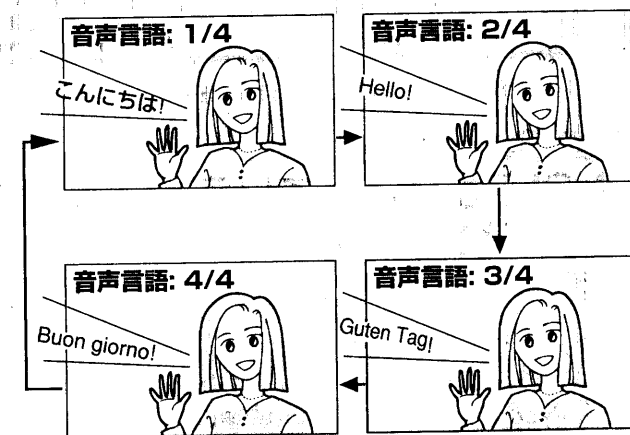
PLAYER DVD

複数の音声言語が記録されたDVDでは、音声言語を選ぶことができます。

再生中に音声ボタンを押す

- ボタンを押すたびに音声言語が切り換わります。
- 画面に音声言語番号が表示されます。

例：4つに音声言語が記録されている場合



分母：記録されている音声言語の総数を示します。
分子：選択されている音声言語番号を示します。

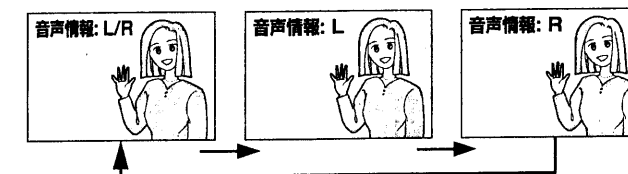
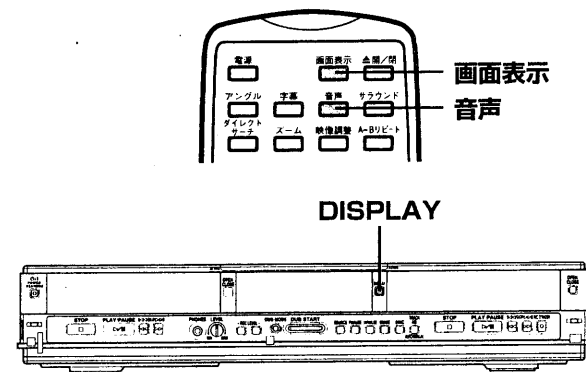
- DVDには、ドルビーデジタルやLPCMなどの音声がある言語で記録されています。好きな言語をお選びください。
- 音声言語が切り換わらないときは、1つしか記録されていないためです。
- ディスクにメニュー画面が記録されている場合は、メニューボタンを押し、メニュー画面で選ぶこともできます。
- セットアップボタンを押して表示されるセットアップ画面でも音声言語を選ぶことができます。
- ビデオCD、CDのときに音声ボタンを押すと、L、R、L/Rの切り換えになります。
- 再生中にリモコンの音声ボタンを押すと、音声出力にノイズが入ることがあります。

音声を切り換える

PLAYER VCD CD

再生中に音声ボタンを押す

- ボタンを押すたびに音声切り換わります。
- 画面に選択されている音声情報が表示されます。



L/RLch(左)の音声は左のスピーカから、Rch(右)の音声は右のスピーカから出ます。
LLch(左)の音声は左右両方のスピーカから出ます。
RRch(右)の音声は左右両方のスピーカから出ます。

- DVD再生中に音声ボタンを押すと、音声言語の切り換えになります。

情報を見る

PLAYER RECORDER DVD VCD CD

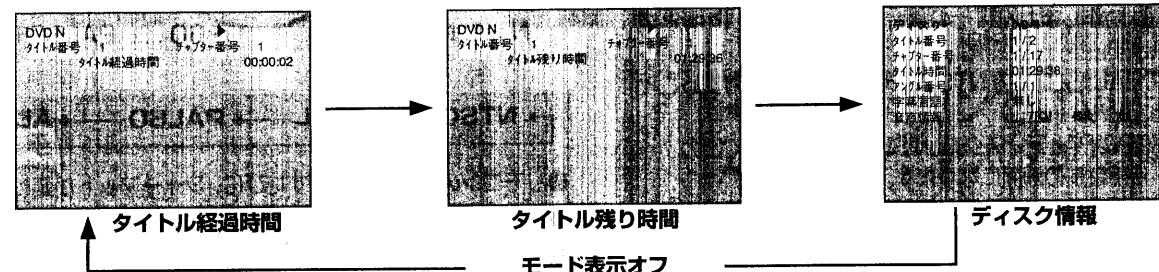
ディスクの再生状態やいろいろな時間情報を表示することができます。時間表示はディスクによって異なります。

画面表示ボタンを押す

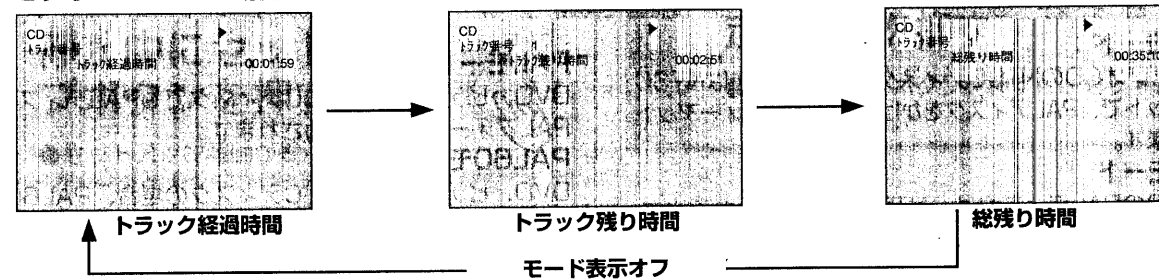
- 画面にモード表示が表示されます。
- ボタンを押すたびに表示が切り換わります。

タイトル経過時間.....タイトルの経過時間を表示します。
タイトル残り時間.....タイトルの残り時間を表示します。
トラック経過時間.....トラックの経過時間を表示します。
トラック残り時間.....トラックの残り時間を表示します。
タイトル時間.....再生中のタイトルの総時間を表示します。
総残り時間.....トータル残り時間を表示します。
ディスク情報.....再生しているディスクの情報を表示します。
モード表示オフ.....モード表示を消します。

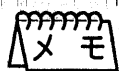
DVDの場合



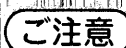
ビデオCD、CDの場合



見る・聞く



- 時間表示やディスク情報表示をしているときに ▶ ボタンを押すと、タイトル、チャプター、トラックサーチモードになります。(モードが切り換わるのは、ディスクがプレーヤー側のトレイに入っているときだけです。)
- 画面表示ボタンでモード表示をオフにしても、再生モードが変わるとタイトル/トラック番号 (IT) やチャプター (C) が約5秒間自動的に表示されます。
- 画面表示ボタンを押すたびに、前ページのイラストのように表示が切り換わります。

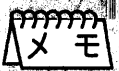
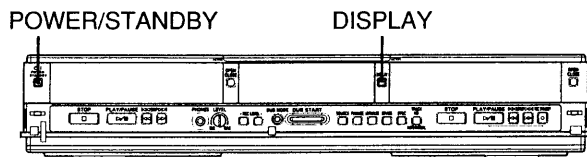
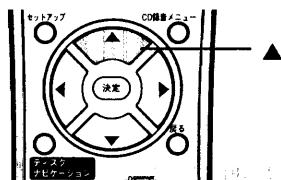


- ディスクによっては時間を表示しないものがあります。

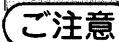
出力フォーマットを変更する



ビデオ信号の出力フォーマットを変更することができます。



工場出荷時の設定に戻すには(この操作には、ディスクが入っていない状態で行ってください) 本体のSTOPボタン(プレーヤー側)とPOWER/STANDBYボタンを同時に押し、POWER/STANDBYボタンを離してSTOPボタンを5秒以上押しつづけると、工場出荷時の設定に戻ります。表示窓の [DVD]、[VCD]、[CD] が点滅から点灯に変わったあと、POWER/STANDBYボタンを押し、1度電源を切り、もう1度本体のPOWER/STANDBYボタンを押し電源を入れます。この時、他の情報(言語、字幕、ラスト再生メモリーなど)の設定も工場出荷時の設定に戻ります。



- DVDのリージョンコードが本機のリージョンコードと異なる場合は動作しません。その場合、表示窓にNo Playと表示されます。
- DVDのPALディスクをNTSCフォーマットで出力することはできません。
- ビデオCDのPALディスクをNTSCフォーマットで出力するとき、若干縦長の画面になります。
- 選択した出力フォーマットの表示が終わると、設定が完了します。

AUTOモード:
DVD、ビデオCDのNTSCディスクをかけたときはNTSCフォーマットで、PALディスクをかけた時はPALフォーマットで出力します。

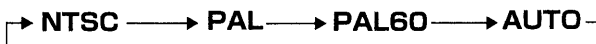
NTSCモード:
ビデオCDのPALディスクは、NTSCフォーマットで出力されます。DVD、ビデオCDのNTSCディスクは、NTSCフォーマットで出力されます。

- ① 本体の前面のDISPLAYボタンを押したままにする。
- ② DISPLAYボタンを押したままで、POWER/STANDBYボタンを押す。
- ③ POWER/STANDBYボタンを離したあと、DISPLAYボタンを約5秒間押す。

- 現在の入力のフォーマット(N、P、P60、A)が約5秒間表示されます。DISPLAYボタンを押して、取り消すことができます。

現在の出力フォーマットが表示している間に、リモコンの ▲ ボタンまたは本体の DISPLAYボタンを押す

- 現在の出力フォーマットが表示窓に表示されます。
- | | |
|----------------|-------------------|
| AAUTOモード | P.....PALモード |
| NNTSCモード | P60PAL60モード |



- リモコンの▲ボタンを押すたびに、フォーマットが変わります。
- 出力フォーマットが選んだあと、表示が消えるまで待ちます。
- 表示が消えたら、POWER/STANDBYボタンを押し1度電源をオフにし、もう1度オンにしてからお使いください。

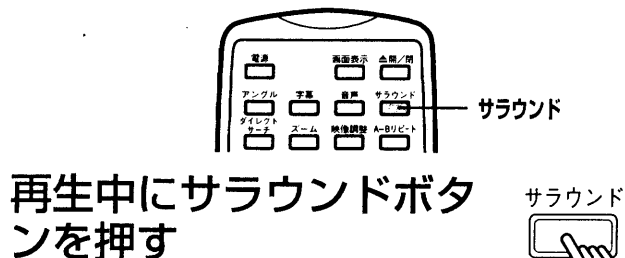
PALモード:
DVD、ビデオCDのNTSCディスクでもPALディスクでもPALフォーマットで出力されます。

PAL60モード:
DVD、ビデオCDのNTSCディスクの場合、PAL60モードで出力されます。PALディスクは、PALモードで出力されます。

サラウンドモードを変更する



ステレオタイプ(2ch)のテレビやオーディオ機器で拡がりのある音声が楽しめるバーチャルサラウンド回路を搭載しています。



再生中にサラウンドボタンを押す

- サラウンドモードのオンまたはオフを選びます。
- ボタンを押すたびに、画面の表示がサラウンドオン、サラウンドオフに切り換わります。



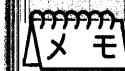
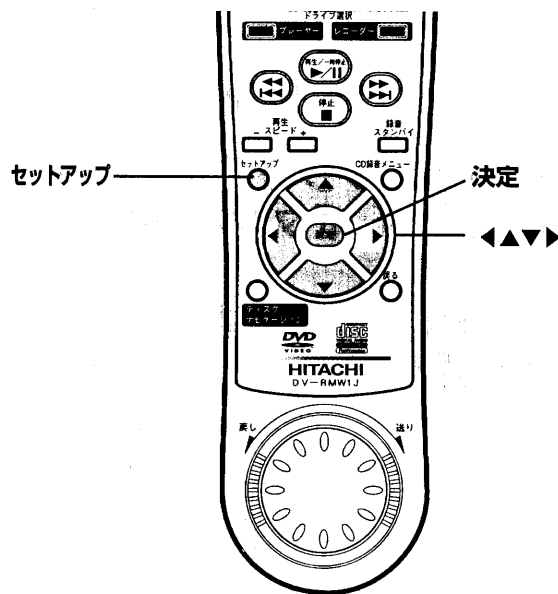
- サラウンド機能がオンになっていると、表示窓に(((SR)))が表示されます。
- バーチャルサラウンドは、ドルビーデジタル(5.1ch)音声やドルビーサラウンド(プロロジック)の音声が記録されているDVDで楽しめます。
- バーチャルサラウンドのスピーカー出力は2chです。セットアップ画面で「5.1ch」に設定しているときに、サラウンドボタンを押して、サラウンドオンにすると、「2ch」に切り換わります。
- ドルビーデジタル2ch以上で収録されたDVDを再生すると、フロントスピーカーの音が実際の位置よりも左右に広がって聞こえたり、サラウンドスピーカーが存在しない横方向から音が出ているように聞こえます。
- 再生中にリモコンのサラウンドボタンを押すと、音声ビームが入る場合があります。

本機の音声機能はデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドからの実施権に基づき製造されています。SPATIALIZER[®] およびシンボルマークは、デスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドの登録商標です。

ワイドテレビ用ソフトを設定する



通常のテレビでDVDのワイド画像を再生するときに出力する画面の形(アスペクト比)を設定します。



- 通常のテレビは横4、縦3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横16、縦9の比率になっています。
- DVDによっては、パンタキーンモード、レターボックスモードに対応していないものもあります。

1 停止中にセットアップボタンを押す

- セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ ボタンで「プレーヤーセットアップ」を選ぶ

- ボタンを押します。

3 ◀▶▶▶ ボタンで「ビデオ設定」を選ぶ

- 決定または▶ボタンを押します。

4 ◀▶▶▶ ボタンで「TV出力設定」を選び、▶ボタンを押す

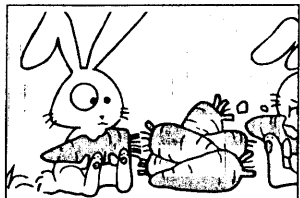
5 ◀▶▶▶ ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

- セットアップボタンを押すと、セットアップ画面が消えます。

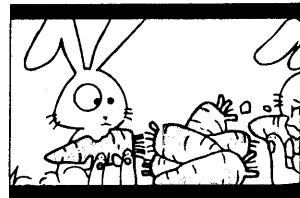
見る・聞く

ワイドテレビ用に収録された映像を通常のテレビで見ると次のようになります。

パンスキャンモードでは、上下の高さに合わせて映し出します。 レターボックスモードでは、左右の長さに合わせて映し出します。



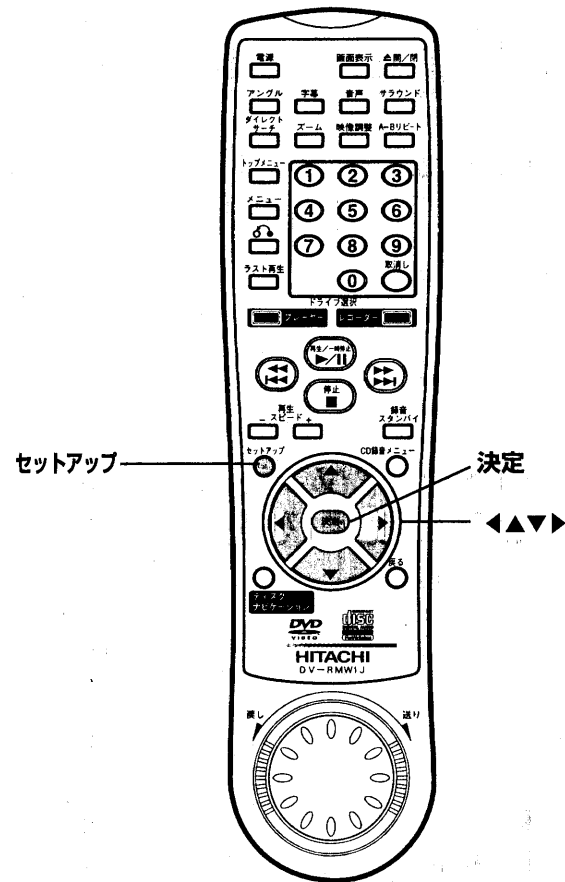
●元の映像が左右に欠けます。



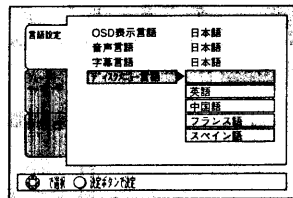
●上下の余った部分が帯状になります。

字幕言語を設定する PLAYER DVD

複数の字幕言語が記録されたDVDのために、セットアップ画面で字幕言語を設定することができます。

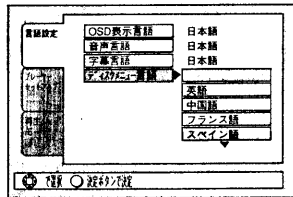


2 ◀▶▶▶ ボタンで「言語設定」を選ぶ



3 ◀▶▶▶ ボタンで「字幕言語」を選び、▶ ボタンを押す

4 ◀▶▶▶ ボタンでお好みの字幕言語を選ぶ

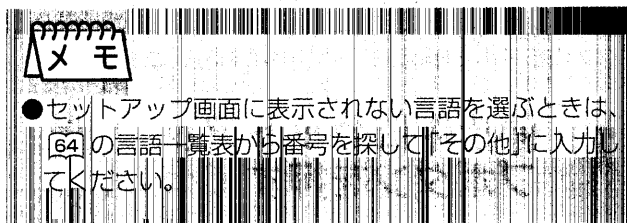


- 決定ボタンを押すと、選んだ字幕言語が決定されます。
- セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

1 停止中にセットアップボタンを押す



- セットアップ画面が表示されます。



複数の音声言語が記録されたDVDのために、セットアップ画面で音声言語を設定することができます。

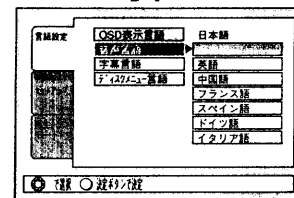
1 停止中にセットアップボタンを押す



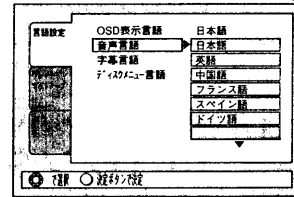
- セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ ボタンで「言語設定」を選ぶ

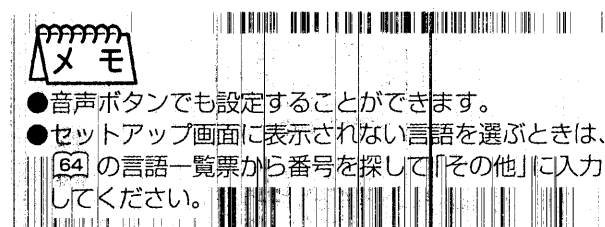
3 ◀▶▶▶ ボタンで「音声言語」を選び、▶ ボタンを押す



4 ◀▶▶▶ ボタンでお好みの音声言語を選ぶ

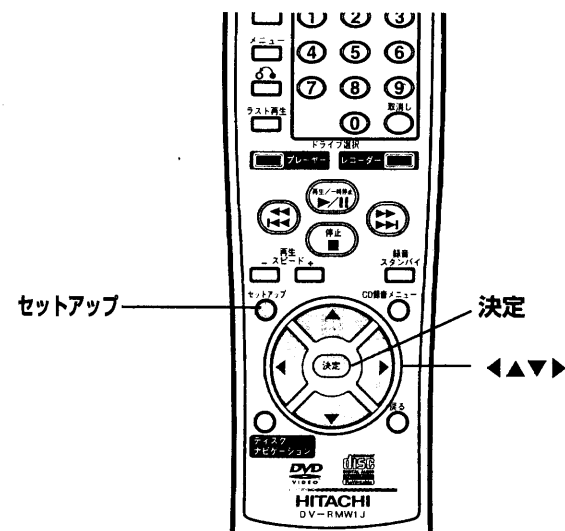


- 決定ボタンを押すと、選んだ音声言語が決定されます。
- セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。



見る・聞く

視聴制限対応のDVDを再生した場合、暴力シーンなど子どもに見せたくない部分を飛ばして試みる事ができます。



■初めてお使いになるとき

初めてお使いになるときは、暗証番号が設定されていません。暗証番号欄には0000が表示され、決定ボタンを押すとパレンタルレベル設定画面が表示されます。

■暗証番号を登録するには

暗証番号入力画面(手順5)で4桁の数字を入力します。数字は次回からは表示されません。

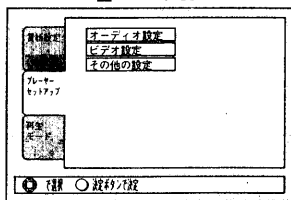
■暗証番号を解除するには

暗証番号入力画面(手順5)でリターンボタンを続けて4回押します。0000が表示され、初期状態になります。

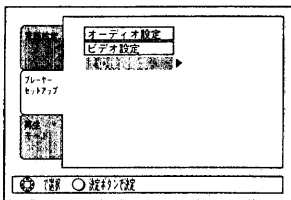
1 停止中にセットアップボタンを押す

- セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ ボタンで「プレイヤーセットアップ」を選ぶ

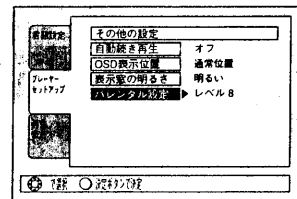


3 ◀▶▶▶ ボタンで「その他の設定」を選び、決定ボタンを押す

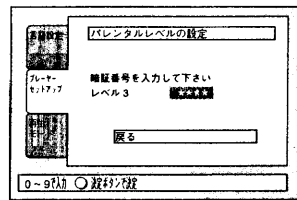


4 ◀▶▶▶ ボタンで「パレンタル設定」を選び、決定ボタンを押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。



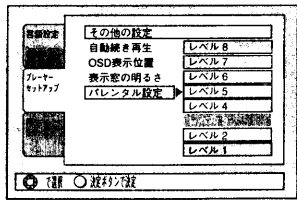
5 数字ボタンで暗証番号を入力する



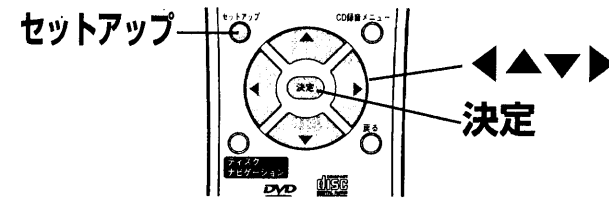
- パレンタルレベル設定画面が表示されます。
- 暗証番号を間違えると、パレンタルレベル設定画面へ進みません。もう一度、暗証番号を入力してください。
- パレンタルレベルを変えないときは、▼ボタンで「戻る」を選び、決定ボタンを押してください。

6 ◀▶▶▶ ボタンで設定したいパレンタルレベルを選び、決定ボタンを押す

- プレイヤーセットアップ画面に戻ります。



ご注意
●****は4桁を表します。パスワードを入力し、決定ボタンを押したあとは、暗証番号は表示されません。



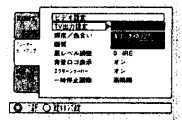
1 セットアップボタンを押す

- セットアップ画面が表示されます。

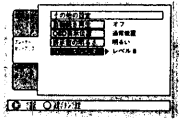
2 ◀▶▶▶ ボタンで設定したい画面を選ぶ



(画面3)



(画面4)



3 ◀▶▶▶ ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

- セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

初期状態 (工場出荷時)

言語設定	①OSD表示言語	モード表示とセットアップ画面を日本語表示か英語表示に切り換える設定です。	日本語	ENGLISH	画面1
	②音声言語	出力される音声言語を選択できます。ディスクに入っていない言語を選択しても、表示されません。	日本語	希望する言語を指定します [64]	
③字幕言語	画面に表示される字幕の言語を選択できます。ディスクに入っていない言語を選択しても、その言語を聞くことはできません。	日本語	オフまたは希望する言語を指定します [64]		
④ディスクメニュー言語 (DVDのみ)	指定した言語でディスクのメニューを表示します。指定した言語に対応していないディスクの場合は、そのディスクが対応している言語の中から自動的に選択されます。この設定は停止中のみ可能です。	日本語	希望する言語を指定します。 [64]		
オーディオ設定	⑤デジタル出力	本機のデジタル音声出力端子から出力する音声を変更できます。DVDの音声には、DTSやドルビーデジタル(映画館で使用される立体的な音声、ドルビーデジタルはAC-3ともいいます)、MPEGオーディオ、LPCMがあります。 DTS/AC-3/MPEG2 DTSやドルビーデジタルやMPEGオーディオをそのままのデジタル信号で出力します。 LPCM ドルビーデジタルの音声は、リニアPCMに変換して出力し、リニアPCMの音声は、そのままリニアPCMの信号で出力します。DTSは出力しません。	LPCM 通常のアンプ、ドルビープロロジックアンプ、MD、DATなどのデジタル入力端子と接続する場合。	画面2	
	再生ディスク	DTS/AC-3/MPEG2 選択時の出力	[LPCM] 選択時の出力	DTS/AC-3/MPEG2 それぞれの方式のデコーダーやデコーダー搭載アンプのデジタル入力端子と接続するとき。	
48kHz, 16ビットLPCM (DVD)	48kHz, 16ビットLPCM	←	オフ デジタル出力は出力されません。48kHz 20/24ビットLPCMのDVDと96kHz LPCMのDVDの音声で音声出力端子から出力するときは、この設定にしてください。デジタル出力の設定が「オフ」以外の時は、DVDの音声出力端子からの音声は、48kHz 16ビットにダウンサンプリングされて再生されます。		
48kHz, 20/24ビットLPCM (DVD)	48kHz, 16ビットLPCM	←			
96kHz LPCM (DVD)	48kHz, 16ビットLPCM	←			
ドルビーデジタル (DVD)	Dolby-Digitalビットストリーム	48kHz, 16ビットLPCM			
DTS (DVD)	DTSビットストリーム	出力なし			
MPEGオーディオ (DVD)	MPEGビットストリーム	48kHz, 16ビットLPCM			
CD	44.1kHz, 16ビットLPCM	←			
ビデオCD	44.1kHz, 16ビットLPCM	←			

この設定は、停止中のみ可能です。



オーディオ設定	⑥コネクタ選択	プレーヤーの後面の5.1chをご使用の場合は、「5.1ch sub W.オン」を設定してください。サブウーハースピーカーが接続されていないときは、「5.1ch sub W.オフ」を選んでください。この機能は再生中は操作できません。	2ch	5.1ch sub W.オン 5.1ch sub W.オフ	画面2
	⑦DRC(DVDのみ)	ドルビーデジタル音声のダイナミックレンジコントロールのことです。お手持ちのステレオシステムやテレビで映画の中の会話などが聞きづらい場合、オンに設定します。	オフ 広いダイナミックレンジでお楽しみいただけます。	オン ダイナミックレンジを圧縮します。DVDによっては効果のない場合があります。	
ビデオ設定	⑧TV出力設定	接続するテレビのアスペクト比を設定します。この設定は、停止中のみ可能です。	4:3レターボックス(通常のテレビ)	4:3パンスキャン(通常のテレビ) ワイドTV	画面3
	⑨輝度/色合い	Yレベルは画面の明るさを、HUEは画面の色合いを調節します。リモコンの映像調整ボタンを押しても、調節画面が出ます。	中央	+、-10段階に調節可能	
	⑩画質	映像出力端子から出力される映像の画質を変更できます。	ノーマル	シャープ ソフト	
	⑪黒レベル調整	映像出力端子から出力される映像の黒色の画質を変更できます。	0 IRE(少し暗い)	7.5 IRE(明るい)	
	⑫背景ロゴ表示	セットアップ画面や停止中の背景を設定します。	オン(ロゴ)	オフ	
	⑬スクリーンセーバー	同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。本機ではメニュー画面などを長時間(5分以上)表示し続けることによる画面の焼きつき現象を防止するため、スクリーンセーバー機能を搭載しています。「オン」にしておくことをおすすめします。スクリーンセーバーはいずれかの操作ボタンを押すと解除されます。	オン スクリーンセーバーが機能する	オフ スクリーンセーバーが機能しない	
プレーヤーセットアップ	⑭一時停止画像	静止画再生中に画面が揺れる場合は、「フリッカーレス」にしてください。画面の揺れがおさまりません。この設定は出力フォーマットがNTSCまたはAUTOに設定され、DVDをNTSCフォーマットで再生中のみ可能です。	高精細	オートセレクト フリッカーレス	
	⑮自動続き再生	電源ON時にディスクが入っていると前回再生を停止したところから自動的に再生します。	オフ	オン	
	⑯OSD表示位置	ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、モード表示が画面の上にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでもモード表示をみることができるようになります。	通常位置	オフ 下げる	
	⑰表示窓の明るさ	表示窓の明るさを変更します。 → 明るい → 暗め → 暗い → 自動	明るい	暗め 暗い 自動	
その他の設定	⑱パレンタル設定(DVDのみ) [60]	視聴制限のことをいいます。映像内容によって再生制限をかける機能です。視聴制限コードが記録してあるディスクを再生する場合、視聴制限(パレンタルロック)をかけることができます。本機は、日本に対する視聴制限コードが記録されているディスクに対して機能しますので、ディスクによってはパレンタルレベルを変えてもパレンタルロックがかからない場合があります。パレンタルロックをかけると、視聴制限対応のDVDを再生した場合、暴力シーンなどで子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの取扱説明書をお読みください。一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとパレンタルレベルの変更はできません。暗証番号は忘れないように控えておいてください。この設定は、停止中のみ可能です。	初期状態はレベル8です。	画面4	

■ディスクメニュー言語を日本語、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語など表示される22ヶ国語以外にするには、ディスクメニュー言語の選択画面で

1. ◀▶▶▶ボタン操作で「その他」を選ぶ
2. 言語一覧表 [64] から希望する言語名に対応する番号を数字ボタンで4桁入力する
3. 決定ボタンを押す

■設定を初期状態(工場出荷時)に戻す(この操作は、ディスクが入っていない状態で行ってください。)

パレンタルレベルの暗証番号、セットアップ情報、ラスト再生のメモリーなどのすべての設定を初期状態(工場出荷時)に戻すには、電源ONの状態、本体のSTOPボタンを押しながらPOWER/STANDBYボタンを一度押し、STOPボタンはそのまま5秒ほど押しつけてください。[DVD]、[VCD]、[CD]の点滅が点灯に変わります。その後いったん電源を切ってください。もう一度、電源を入れると初期状態になります。

言語一覧表

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アフアル	7384	イタリア	8376	スロベニア
6566	アプハジア	7387	ヘブライ	8377	サモア
6570	アフリカーンス	7465	日本語	8378	ショナ
6577	アムハラ	7473	イディッシュ	8379	ソマリ
6582	アラビア	7487	ジャワ	8381	アルバニア
6583	アッサム	7565	グルジア	8382	セルビア
6588	アイマラ	7575	カザフ	8385	スンダ
6590	アゼルバイジャン	7576	グリーンランド	8386	スウェーデン
6665	バシキール	7577	カンボジア	8387	スワヒリ
6669	ベロルシア(白ロシア)	7578	カナダ	8465	タミル
6671	ブルガリア	7579	韓国(朝鮮)語	8469	テルグ
6672	ビハール	7583	カシミール	8471	タジク
6678	ベンガル(バングラ)	7585	クルド	8472	タイ
6679	チベット	7589	キルギス	8473	ティグリニア
6682	ブルターニュ	7665	ラテン	8475	トルクメン
6765	カタロニア	7678	リンガラ	8476	タガログ
6779	コルシカ	7679	ラオ	8479	トンガ
6783	チェコ	7684	リトアニア	8482	トルコ
6789	ウェールズ	7686	ラトビア(レット)	8484	タタール
6865	デンマーク	7771	マダガスカル	8487	トウイ
6869	ドイツ	7773	マオリ	8575	ウクライナ
6890	ブータン	7775	マケドニア	8582	ウルドゥー
6976	ギリシャ	7776	マラヤーラム	8590	ウズベク
6978	英語	7778	モンゴル	8673	ベトナム
6979	エスペラント	7779	モルダビア	8679	ヴェラピュック
6983	スペイン	7782	馬拉ッタ	8779	ウォロフ
6984	エストニア	7783	マライ(マレー)	8872	コーサ
6985	バスク	7784	マルタ	8979	ヨルバ
7065	ペルシャ	7789	ミャンマー	9072	中国語
7073	フィンランド	7865	ナウル	9085	ズールー
7074	フィジー	7869	ネパール		
7079	フェロー	7876	オランダ		
7082	フランス	7879	ノルウェー		
7089	フリジア	7982	オーリヤ		
7165	アイルランド	8065	パンジャブ		
7168	(スコットランド)ゲール	8076	ポーランド		
7176	ガリチア	8083	パシュト		
7178	グアラニー	8084	ポルトガル		
7185	グジャラト	8185	ケチュア		
7265	ハウサ	8277	レトロマンス		
7273	ヒンディー	8279	ルーマニア		
7282	クロアチア	8285	ロシア		
7285	ハンガリー	8365	サンスクリット		
7289	アルメニア	8368	シンド		
7365	インターリングア	8372	セルボクロアチア		
7378	インドネシア	8373	シンハラ		
7383	アイスランド	8375	スロバキア		

用語

■ドルビーデジタル(AC-3)

DVDに記録されている圧縮されたデジタル音声のひとつです。DVDには普通のステレオ音声をドルビーデジタルで記録したディスクや最大5チャンネルのサラウンド音声と低音専用チャンネルをドルビーデジタルで記録したディスクがあります。本機では、サラウンド音声を2チャンネルにダウンミックスして再生するほか、バーチャルサラウンドでも楽しめます。本機のデジタル出力端子をドルビーデジタルデコーダーやデコーダー内蔵アンプのデジタル入力端子に接続すると、サラウンド音声が楽しめます。

■DTS(Digital Theater System)

DVDに記録される圧縮されたデジタル音声のひとつです。本機のデジタル出力端子を、DTSデコーダーやデコーダー内蔵アンプのデジタル入力端子に接続すると、サラウンド音声が楽しめます。

■LinearPCM(Pulse Code Modulation)

CDやDVDの圧縮されていないデジタル音声のことです。

■MPEGオーディオ

MPEG方式の圧縮により記録されたデジタル音声のことです。ビデオCDやDVDに使われています。

■タイトル

DVDに記録されている映像や曲の一番大きな単位のことです。それぞれのタイトルに付けられた番号のことをタイトル番号といい、このタイトル番号が記録されているディスクでは、タイトル番号を選んで再生するタイトルサーチなどの操作ができます。

■チャプター

DVDに記録されている映像や曲のタイトルより小さい単位のことです。それぞれのチャプターに付けられた番号のことをチャプター番号といい、このチャプター番号が記録されているディスクでは、チャプター番号を選んで再生するチャプターサーチなどの操作ができます。

■トラック

CDやビデオCDに記録されている映像や曲のことです。それぞれのトラックに付けられた番号のことをトラック番号といい、このトラック番号が記録されているディスクでは、トラック番号を選んで再生するトラックサーチなどの操作ができます。

■ビデオCD

VHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術(MPEG1方式)により最大74分のデジタル画像と音声連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール(PBC)”対応のディスクがあります。

■プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD(バージョン2.0)に記憶されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記憶されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高精細/標準の静止画も楽しむことができます。

■高精細静止画

ビデオCDのなかに高精細な静止画が入っている場合は、動画の4倍の解像度で楽しむことができます。

■スクリーンセーバー

同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。これを避けるため、スクリーンセーバーが用いられています。一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一箇所に強い光線(明るい色)が集中しないようにするものもあります。

■マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですがすべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影した画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルといいます。

■アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4:3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

■パレンタルレベル

英語の綴りでは、PARENTALです。これは、PARENT(親、両親)からきています。これから解るように、親が子に見せたくない映像に制限がついているものです。

■字幕言語

映画などでおなじみの字幕言語です。DVDでは字幕の言語を最大32ヶ国分記録することができ、その中からお好みの言語を選んで楽しむことができます。

■リージョンコード

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号(リージョンコード)が設けられており、再生するディスクに記載されている再生可能地域番号にプレーヤーの再生可能地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機の再生可能地域番号は2番です。

故障かな？と思ったら

電源プラグがはずれていたりすると故障と間違えることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。それでも具合が悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店、または「ご相談窓口一覧表」の「ご相談窓口」にお問い合わせください。

このようなときは	考えられる原因	参照ページ
電源が入らない	●電源コードが正しく接続されていない。	17
映像がでない、映像が乱れる	●AVコードが正しく接続されていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●本機はマクロピジョン方式のコピーガードに対応していません。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入るなどの症状がでるものもありますが、故障ではありません。 ●本機をテレビに直接接続してください。また、本機からの映像をビデオデッキを通してテレビでご覧になると、コピーガードの働きにより画像が乱れることがあります。	17 13 17
音が出ない、雑音が多い	●AVコードが正しく接続されていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●一時停止、またはスロー再生、または高速再生になっている。 ●デジタル出力の設定が適切でない。	17 13 40 41 61
リモコンで操作できない	●リモコンと本体との距離が離れすぎている。 ●リモコン受信窓との角度がありすぎる。 ●リモコンの乾電池が消耗している。 ●リモコン受信窓に直射日光など強い光が当たっている。	14
DVDの映像をVTRに録画すると再生映像が乱れる	●本機はマクロピジョン方式のコピーガードに対応していません。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRに録画し、再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
再生できない	●ディスクが正しくセットされていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●本機で再生できないディスクを入れている。 ●本体の内部が結露している。 ●パレンタルロックがかかっている。 ●ディスクのリージョンコードが異なっている。	39 13 12 9 60 12
いろいろな再生ができない	●DVDではディスクによって特定の操作が禁止されていることがあります。 ディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。	

このようなときは	考えられる原因	参照ページ
DVDの字幕言語を変更できない	●再生しているDVDに複数の字幕言語が記録されていない。	64
DVDの音声言語を変更できない	●再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。	64
DVDのアングルを変更できない	●再生している場面に複数のアングルが記録されていない。	63
DVDを最初から再生できない	●停止、再生すると最初から再生しないディスクもあります。メニューボタンやトップメニューボタンで操作してください。	43 44
メニュー画面が英語で表示される	●OSD表示言語の設定が適切でない。	61
ビデオCDのメニュー画面が表示されない	●PBC対応でないビデオCDを再生している。 ●PBC対応のビデオCDで決められた操作をしていない。 ●PBCがオフになっている。	12 44

ご注意
静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、本体のPOWER/STANDBYボタンを押してください。POWER/STANDBYボタンを押して20秒程待ってもSTANDBY状態（STANDBYインディケータが赤、表示窓が全消灯）にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

リセットについて

本機が普通に操作できないときは、電源プラグをコンセントから抜き、もう一度差し込んでください。CD-Rディスク、CD-RWディスクの録音中はリセットしないでください。ディスクが破損し使用できなくなります。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
☎ 0120-3121-68

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
☎ 0120-3121-11

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

修理ご相談窓口

北海道地区			関東・甲信越地区		
担当地域	拠点名	所在地	担当地域	拠点名	所在地
北海道	札幌	札幌市白石区東札幌2条4-1-10	東京都	北東京	足立区千住閏屋町11-1
	旭川	旭川市東光10条3-4-14		西東京	豊島区西池袋4-23-11
	北見	北見市常盤町3-2-21		南東京	世田谷区三軒茶屋2-48-8
	釧路	釧路市新橋大通1-1-5	三鷹	三鷹市上連雀7-32-32	
	帯広	帯広市緑ヶ丘2条通り1-2-7	神奈川県	横浜	横浜市戸塚区品濃町531-1
	小樽	小樽市錦町5-12		川崎	川崎市高津区上作延553-1
苫小牧	苫小牧市住吉町2-5-2	厚木		厚木市長谷260-27	
室蘭	室蘭市中島町3-14-13	埼玉県	大宮	大宮市東大成町2-246	
函館	函館市亀田町7-12		越谷	越谷市大杉458-3	
			三芳	入間郡三芳町上富1828-1	
東北地区			千葉県	千葉	千葉市花見川区幕張町1-7681
青森県	青森	青森市青柳1-16-4		柏	柏市中央2-9-16
	むつ	むつ市緑町17-56		船橋	船橋市高瀬町62-10
岩手県	弘前	弘前市外崎4-2-3	銚子	銚子市唐子町21-3	
	八戸	八戸市大字根城字白山平1-7	東金	東金市福儀3-397	
宮城県	宮城	盛岡市東仙北1-12-12	木更津	木更津市潮浜1-17-29	
	古川	水沢市東中通り2-4-38	館山	館山市八幡66-1	
秋田県	秋田	仙台市宮城野区扇町3-2-9	茨城県	水戸	水戸市水府町1548
	大館	古川市古川字上古川1150		日立	日立市幸町2-2-10
山形県	山形	桃生郡河南町鹿又道の前499-1	鹿嶋	鹿嶋市神向寺大芝311-1	
	庄内	秋田市土崎港相楽町字沖谷地151-1	土浦	土浦市荒川沖字一里塚5-102	
福島県	いわき	大館市御成町3-1-9	栃木県	宇都宮	宇都宮市御幸ヶ原町40-5
	郡山	大曲市福住町4-16		群馬県	伊勢崎
	会津若松	山形市蔵王松ヶ丘1-1-33	山梨県	山梨	中巨摩郡田代町流通団地1-8-2
		酒田市東町1-7-1	長野県	長野	長野市南長池763-3
		いわき市平塩字古川95	新潟県	新潟	松本市芳川村井町1280-1
		福島市春日町14-33		新潟	新潟市紫竹山5-5-29
		原町市栄町3-41		新潟	佐渡郡金井町泉1031-6
		安達郡本宮町大字荒井字長山79		新潟	長岡市東蔵王2-7-37
		会津若松市西七日町6-15		新潟	上越市栄町6-4
			静岡県(富士川以東)	沼津	沼津市上香貫横島町1354-2
			静岡県(富士川以西)	静岡	静岡市豊田3-6-27
				浜松	浜松市篠ヶ瀬町1255

修理ご相談窓口

中部地区			中国地区		
担当地域	拠点名	所在地	担当地域	拠点名	所在地
愛知県	名古屋東	名古屋市守山区川宮町55	鳥取県	鳥取	鳥取市千代水3-106
	名古屋西	名古屋市中区篠原橋通1-1		島根県	山陰
	豊橋	岡崎市大樹寺2-12-6		浜田	浜田市下府町388-40
岐阜県	岐阜	豊橋市東田町151-1	岡山県	岡山	岡山市延友189-3
	高山	岐阜市宇佐南2-3-8			津山
三重県	北三重	高山市岡本町3-176	広島県	広島	広島市西区観音新町1-7-17
	南三重	瑞浪市明世町山野内字沼305-1			備後
静岡県(富士川以東)	沼津	四日市市羽津中2-1-6	山口県	山口	吉敷郡小郡町大字上郷字仁保津下5220
		度会郡玉城町佐田字銚子口1820-1			東山口
静岡県(富士川以西)	静岡	静岡市豊田3-6-27	四国地区		
富山県	富山	浜松市篠ヶ瀬町1255	徳島県	徳島	徳島市応神町古川字日の上15-2
		富山市向新庄857-1		香川県	香川
石川県	石川	石川郡野々市町堀内5-20	愛媛県		愛媛
福井県	福井	福井市高木中央1-1402			東予
			高知県	高知	高知市朝倉西町2-5-5
関西地区			九州・沖縄地区		
担当地域	拠点名	所在地	担当地域	拠点名	所在地
大阪府	京阪	門真市大字岸和田1551	福岡県	福岡	福岡市博多区諸岡3-21-28
	大阪	大阪市福島区海老江1-5-79			北九州
奈良県	奈良	堺市鳳東町7-771		久留米	久留米市野中町1440-1
		天理市二階堂上ノ庄町342-1		大牟田	大牟田市天領町1-201
兵庫県	神戸	神戸市東灘区甲南町1-3-8	佐賀県	佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸3181
	西神戸	神戸市西区平野町下村251			唐津
京都府	姫路	姫路市飾磨区構4-81	長崎県	長崎	西彼杵郡長与町高田郷1275-1
	豊岡	伊丹市昆陽3-254			佐世保
滋賀県	京都	豊岡市桜町15-15		五島	福江市下大津町724-7
	福知山	京都市右京区西京極豆田町17	熊本県	熊本	熊本市春竹町春竹500
	福知山市字堀1965-2			八代	八代市田中西町10-10
和歌山県	和歌山	大津市玉野浦2-1		天草	本渡市今釜新町3444
	田辺	彦根市川瀬馬場町1010-1	大分県	大分	大分市豊海5-4-12
新宮	和歌山市井ノ口543-1			中津	中津市大字下池永字北原564-1
		田辺市稲成町字沖代80-2	宮崎県	宮崎	佐伯市中村南町9-5
		新宮市下田2-3-12			延岡
				都城	延岡市旭ヶ丘6-1-24
			鹿児島県	鹿児島	都城市葛蒲原町24-2-5
					鹿屋
				那覇	鹿屋市新生町10-4
			沖縄県	那覇	那覇市字安謝620-187

一般ご相談窓口 家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

地区お客様相談センター		
担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	(011) 833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	(022) 222-5088	仙台市青葉区片平1-3-30 (日本コムピア仙台ビル)
関東・甲信越地区	(03) 3834-8588	台東区東上野2-7-5 (日立家電上野ビル)
中部地区	(052) 795-5088	名古屋守山区川宮町55 (日立家電守山ビル)
関西地区	(078) 431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	(082) 231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	(0877) 47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	(092) 281-5088	福岡市博多区店屋町7-18 (博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称・所在地等は変更することがありますのでご了承ください。

ご参考

仕様

一般	形名 DV-W1 使用レーザー 半導体レーザー : 波長 650nm (DVD) 780nm (CD, VCD) 電源 AC100V、50/60Hz共用 消費電力 27W 質量 4.8kg 外形寸法 43.5(幅)×33.0(奥行)×8.1(高さ) cm 許容動作温度 +5℃~+35℃ 許容動作湿度 15~75%(結露のないこと)										
S映像出力端子	Y出力レベル 1Vp-p (75Ω) C出力レベル NTSC 286mVp-p (75Ω) PAL 300mVp-p (75Ω) 出力端子 S端子										
映像出力端子	出力レベル 1Vp-p (75Ω負荷時同期) 出力端子 ピンジャック										
コンポーネント映像出力端子	Y出力レベル 1Vp-p (75Ω) C _B 出力レベル NTSC 700mVp-p (75Ω) PAL 698mVp-p (75Ω) C _R 出力レベル NTSC 700mVp-p (75Ω) PAL 698mVp-p (75Ω) 出力端子 ピンジャック										
音声出力端子	音声出力レベル 200mVrms (1kHz、-20dB) 2ch MIXED出力 1システム (ピンジャック×2) 5.1ch出力 1システム (ピンジャック×6) 音声特性 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>周波数特性</td> <td> CD : 4Hz~20kHz (EIAJ) DVD : 4Hz~22kHz (48kHz サンプリング) 4Hz~44kHz (96kHz サンプリング) </td> </tr> <tr> <td>SN比</td> <td>110dB</td> </tr> <tr> <td>ダイナミックレンジ</td> <td>100dB</td> </tr> <tr> <td>全高調波ひずみ率</td> <td>0.003%</td> </tr> <tr> <td>ワウ・フラッター</td> <td>測定限界 (±0.001%W.PEAK) 以下 (EIAJ)</td> </tr> </table>	周波数特性	CD : 4Hz~20kHz (EIAJ) DVD : 4Hz~22kHz (48kHz サンプリング) 4Hz~44kHz (96kHz サンプリング)	SN比	110dB	ダイナミックレンジ	100dB	全高調波ひずみ率	0.003%	ワウ・フラッター	測定限界 (±0.001%W.PEAK) 以下 (EIAJ)
周波数特性	CD : 4Hz~20kHz (EIAJ) DVD : 4Hz~22kHz (48kHz サンプリング) 4Hz~44kHz (96kHz サンプリング)										
SN比	110dB										
ダイナミックレンジ	100dB										
全高調波ひずみ率	0.003%										
ワウ・フラッター	測定限界 (±0.001%W.PEAK) 以下 (EIAJ)										
音声入力端子	音声入力レベル 200mVrms (1kHz、-20dB、最大776mVrms) 1システム (ピンジャック×2)										
その他の端子	光/同軸デジタル音声出力 同軸端子 1 (DTS/AC-3/MPEG2 LPCM、オフ切替可) 光コネクタ 1 光/同軸デジタル音声入力 同軸端子 1 (LPCM切替可) 光コネクタ 1										
ヘッドホン端子	出力レベル 15mW、32Ω (ミニジャック)										
付属品	リモコン (DV-RMW1J) 1個 単3形乾電池 2個 AVコード 1本										

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

保証とアフターサービス(必ずご覧ください)

修理を依頼される時は(出張修理)

④に従って調べていただき、異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書(別添) 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。 保証期間…お買い上げ日から1年です。	補修用性能部品の最低保有期間 この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。 この期間は通商産業省の指導によるものです。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。	ご不明な点や修理に関するご相談は 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。
---	--	--

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	DVDプレーヤー・CDレコーダー
形名	DV-W1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	


ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

長年ご使用のDVDプレーヤー・CDレコーダーの点検をぜひ!

DVDプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

愛情点検 	このようなことはありませんか? <ul style="list-style-type: none"> ●電源コード、プラグが異常に熱くなる。 ●画像が乱れたり、きれいに映らない。 ●その他の異常や故障がある。 	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。
--	---	--

修理料金のしくみ

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。	+
部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。	+
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。	

ご参考